

「地域を支える建設業」 検討会議

第 40 回全体会議

長野県提出資料



県資料 1	入札制度の見直しについて	… 1
県資料 2	施工者希望型週休2日工事の経費等の補正について	… 7
県資料 3	新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防における現場管理費の補正について	… 9
県資料 4	令和2年度 ICT活用工事等への取組について	… 11
県資料 5	建設産業における担い手の確保・育成と生産性の向上について	… 13
県資料 6	建設女性の会設立について	… 31
県資料 7	令和2年7月豪雨の状況	… 33
県資料 8	「災害時における応急対策業務に関する細目協定」に基づく体制確保について	… 39

入札制度の見直し等について

「地域を支える建設業」検討会議
第 40 回 全体会議

受注希望型競争入札の実施状況について

技術管理室

I 受注希望型競争入札の状況

1 建設工事（環境部・農政部・林務部・建設部・企業局）

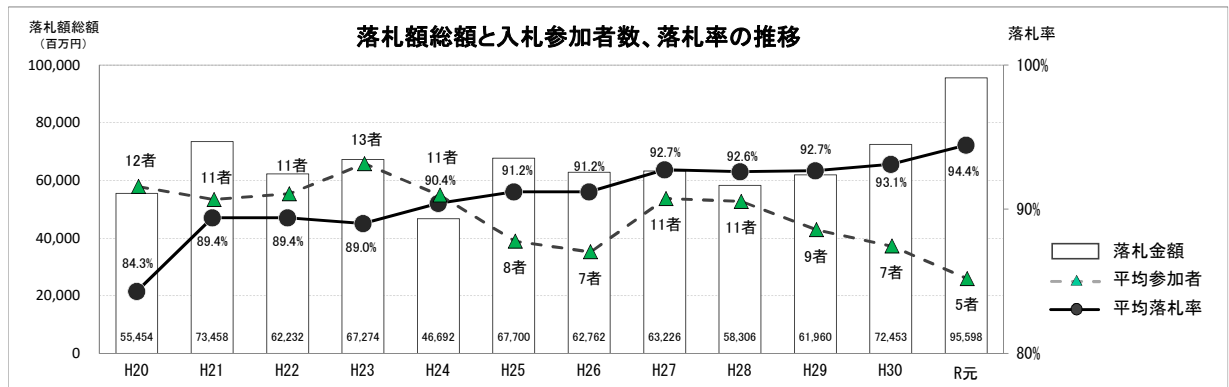
(1) 平成30年度、令和元年度の状況

注）集計は、開札日を基準としている。（森林整備を除く）

区分	開札合計 (件)	開札結果			平均参加者数(者)	平均落札率(%)	
		応札なし	不調	契約			
平成30年度	4月	81	0	2	79	11.8	92.9
	5月	56	0	0	56	10.9	92.9
	6月	106	1	2	103	10.6	93.0
	7月	211	2	2	207	8.4	92.9
	8月	188	11	5	172	7.3	92.8
	9月	238	9	4	225	6.0	93.1
	10月	135	10	12	113	5.6	93.6
	11月	183	13	5	165	5.1	93.2
	12月	134	13	3	118	5.9	93.0
	1月	139	10	5	124	5.9	93.7
	2月	250	16	7	227	8.3	93.2
	3月	146	3	1	142	8.2	93.4
	合計	1,867	88	48	1,731	7.5	93.1
令和元年度	4月	98	2	4	92	8.6	93.1
	5月	78	1	4	73	6.6	93.1
	6月	211	12	4	195	8.6	93.1
	7月	273	16	6	251	5.4	93.5
	8月	218	21	6	191	5.0	93.7
	9月	235	27	6	202	4.6	95.0
	10月	181	32	3	146	3.6	95.2
	11月	101	14	4	83	3.4	95.1
	12月	142	20	6	116	4.2	94.9
	1月	123	13	0	110	4.2	95.1
	2月	271	15	2	254	5.0	95.1
	3月	290	31	5	254	4.0	95.7
	合計	2,221	204	50	1,967	5.2	94.4
令和2年度	4月	107	14	2	91	3.2	96.0

※令和元年8月1日以降の公告案件から見直し後の失格基準を適用

(2) 近年の入札状況



(3) 地域別(10ブロック)の動向

	佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曽	松本	北アルプス	長野	北信	全県	
平成30年度	平均参加者数(者)	14.5	7.0	6.4	6.8	7.0	3.3	5.5	5.0	9.5	7.8	7.5
	平均落札率(%)	92.6	92.3	92.4	92.9	92.7	97.4	93.9	93.8	92.5	92.6	93.1
	地元受注率(件数)(%)	91.9	88.9	94.0	90.2	94.0	92.2	95.1	92.9	97.0	84.9	93.1
	地元受注率(金額)(%)	52.0	76.0	94.1	81.7	91.9	94.7	88.4	85.9	95.2	83.1	85.4
令和元年度	平均参加者数(者)	6.6	4.6	4.5	5.3	5.2	2.6	4.8	4.3	5.8	6.2	5.2
	平均落札率(%)	95.5	94.2	93.3	94.3	94.0	98.2	94.9	95.4	93.7	93.4	94.4
	地元受注率(件数)(%)	92.6	85.6	94.0	88.0	89.7	86.8	93.4	88.7	94.9	86.0	91.0
	地元受注率(金額)(%)	76.8	74.9	86.7	63.0	79.5	90.0	75.1	68.0	87.7	58.3	76.0

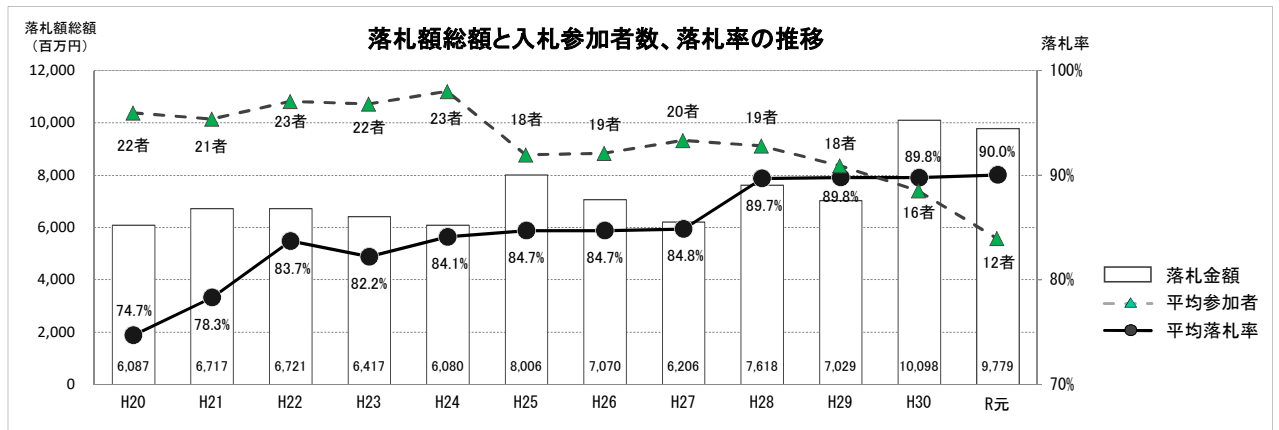
2 委託業務（環境部・農政部・林務部・建設部・企業局）

(1) 平成30年度、令和元年度の状況

注）集計は、開札日を基準としている。（森林整備を除く）

区分	開札合計 (件)	応札なし	不調	契約	平均参加者数(者)	平均落札率(%)	
平成30年度	4月	33	0	1	32	17.9	89.7
	5月	93	0	2	91	18.3	89.6
	6月	164	0	0	164	18.5	89.8
	7月	221	0	0	221	16.6	89.9
	8月	191	0	1	190	14.4	89.8
	9月	207	1	0	206	15.7	89.7
	10月	156	2	1	153	13.3	89.6
	11月	167	3	1	163	13.7	89.3
	12月	82	2	0	80	14.6	90.1
	1月	153	2	0	151	15.1	90.0
	2月	170	0	0	170	14.9	89.8
	3月	50	0	0	50	16.4	89.9
	合計	1,687	10	6	1,671	15.5	89.8
令和元年度	4月	70	0	0	70	17.9	89.9
	5月	99	1	1	97	16.5	89.9
	6月	174	0	2	172	15.2	90.0
	7月	242	3	3	236	14.2	90.0
	8月	199	3	0	196	12.3	90.0
	9月	174	7	2	165	9.8	90.2
	10月	183	16	4	163	7.4	89.9
	11月	134	13	0	121	7.2	90.2
	12月	111	5	2	104	7.9	90.0
	1月	114	0	0	114	11.2	90.1
	2月	141	3	1	137	12.0	89.9
	3月	68	0	0	68	12.4	89.9
	合計	1,709	51	15	1,643	11.8	90.0
令和2年度	4月	53	0	1	52	14.0	89.9

(2) 近年の入札状況



II 総合評価落札方式の状況

(単位：件)

区分	平成16~27年度 (~H20試行)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
工事	技術等提案型	43	3	5	4	8 技術等提案Ⅱ型を含む
	簡易型	5,294	464	453	562	696
	簡易Ⅱ型	-	-	26	104	103
	地域貢献等	-	-	-	-	36
	計	5,337	467	484	670	843
委託業務	技術等提案型	59	4	6	5	0 技術等提案Ⅱ型を含む
	簡易型	2,170	297	367	581	559
	簡易Ⅱ型	-	-	228	346	306
	計	2,229	301	601	932	865
合計	7,566	768	1,085	1,602	1,708	

建設工事における総合評価落札方式（地域貢献等簡易型）の試行の見直し

1 経過

地元建設企業がその役割を担い続けることができるよう、地元企業の受注機会の拡大と技術力の維持・向上を図ることを目的に令和元年8月以降の公告案件から『総合評価落札方式(地域貢献等簡易型)』の試行を開始している。

同様に地元企業の受注機会の拡大等を目的として実施している『地域貢献等を基本要件とする受注希望型競争入札』については、公平性等の観点から廃止し、今後は、『総合評価落札方式(地域貢献等簡易型)』に統合し、地元企業の受注機会の拡大等を図りたい。なお、統合に当たり、制度の一部見直しを行うものである。

2 見直し内容

評価項目		評価点	
① 工事成績	(必須) 評価点=2点×(工事成績点-65)/(最高工事成績点-65)	2.0	
② 地域貢献度	(必須) 過去5年間又は現年度に管内の災害復旧工事(県発注)の実績を有する者 ※発注機関の長の判断により、求める実績の期間は延長できる	1.0	
	(必須) 過去5年間又は現年度に管内の災害応急活動(県発注)の実績を有する者 ※発注機関の長の判断により、求める実績の期間は延長できる	1.0	
	(必須) 過去2年間又は現年度に県の小規模補修当番に登録(小規模維持補修工事等に関する施工体制確認型契約を含む)した者	1.0	
	(選択) 発注機関が定める地域貢献等の実績を有する者 例)除雪契約、地域の安心・安全の確保への活動など	0.5	
③ 災害時体制	(必須) 災害対応重機を保有する者 例)ショベル系掘削機、ブルドーザー、トラクターショベル、大型ダンプ車等	0.5	
④ 地域精通度	(必須) 対象工事の近隣に本店を有する者 例)旧市町村、大字単位など市町村をさらに細分化した地域内 ※発注機関の長の判断により、評価点を2.0点とすることができる	1.0 ※2.0	(最大) 1.0 2.0
	(必須) 上記以外で対象工事と同一市町村に本店を有する者 ※上記評価点を2.0点にした場合は、当該評価点を1.0点とする	0.5 ※1.0	
⑤ 配置技術者	(必須) 主任技術者に若手技術者(40歳未満)を配置する場合	0.25	
⑥ 施工体制	(必須) 長野県発注工事の手持ち工事量 (当初契約金額5,000万円以上の工事件数)×(-0.2点) (当初契約金額3,000万円以上5,000万円未満の工事件数)×(-0.1点)	-1.0~0.0	
価格以外の評価点		6.25~8.25	
価格点		91.75~93.75	
総合評価点		100	

3 対象工事

土木一式工事(予定価格 5,000 万円未満)、とび・土工・コンクリート工事(予定価格 3,000 万円未満)

4 適用

令和2年7月の公告案件から適用

建設工事の総合評価落札方式における加点項目の新設 (週休 2 日・I C T 活用工事)

長野県では、建設現場の働き方改革を推進する観点から「週休 2 日工事」に取り組むとともに、建設産業の生産性向上や魅力の創出による担い手確保を目的に「I C T 技術の活用」を推進しています。

さらなる推進を図るため、総合評価落札方式において、これらの取組を加点評価します。

1 評価内容

総合評価落札方式 工事成績等簡易型の全ての建設工事 ^(※1) において、週休 2 日工事、I C T 活用工事の実績を有する企業、技術者を加点評価します。

なお、加点対象は公告日時点で履行実績証明書 ^(※2) の発行日から 1 年以内 ^(※3) の実績を有する企業、または、2 年以内の実績を有する技術者 が評価対象となります。

(1) 週休 2 日工事

週休 2 日工事のうち、達成度が『達成』(完全週休 2 日または週休 2 日相当)の履行実績を「建設マネジメント」、「技術者要件」において評価

(※ 災害等の緊急を要する工事は、対象外とする。)

評価項目	評価点
建設マネジメント－週休 2 日実績	0.25
技術者要件－週休 2 日実績	0.25

(2) I C T 活用工事

I C T 活用工事の履行実績を「建設マネジメント」、「技術者要件」において評価

(※ 建築工事は対象外とする。)

評価項目	評価点
建設マネジメント－I C T 実績	0.25
技術者要件－I C T 実績	0.25

※1 I C T 活用工事の加点評価は、予定価格 8,000 万円以上の建設工事を対象とする。(令和 2 年度)

※2 県工事において発行される工事成績評定通知書及び履行実績証明書。ただし、成績表定点が 65 点未満の実績は評価の対象としない。

※3 令和 3 年度までの間、企業の実績を発行日から 2 年間有効とする。

2 実施時期

令和 2 年 9 月の公告案件から適用

施工者希望型週休2日工事の経費等の補正について

1 目的

建設現場の働き方改革を推進し、建設業の持続的な担い手確保に資するため、平成30年4月から、週休2日工事に取り組んでいるところです。

週休2日工事のさらなる推進を図るため、発注者指定型と同様に、施工者希望型においても、予定価格から週休2日工事を達成した場合と同等の経費等の補正を行って工事を発注します。

2 経費の補正

- (1) 工事発注時 ・ 労務費、機械経費（賃料）、間接工事費（共通仮設費・現場管理費）について、週休2日工事を達成した場合と同等の補正を行い、工事を発注
- (2) 精算時 ・ 週休2日が未達成の場合、達成度に応じて、労務費、機械経費（賃料）、間接工事費（共通仮設費・現場管理費）を変更（減額）

発注者指定型週休2日工事との相違点

週休2日が未達成となった場合

【発注者指定型】経費等の補正分を全て減額

【施工者希望型】4週6休（達成率75%）以上であれば、達成度に応じた経費の補正を行う

達成度※1	達成率※2	補正係数			
		労務費	機械経費 （賃料）	間接工事費	
共通仮設費	現場管理費				
達成	100 %以上	1.05	1.04	1.04	1.06
概ね達成	87.5 %以上	1.03	1.03	1.03	1.04
一定程度達成	75 %以上	1.01	1.01	1.02	1.03

※1 達成度は、達成は4週8休、概ね達成は4週7休、一定程度達成は4週6休に相当。

※2 達成率 =
$$\frac{\text{（実際の現場閉所日数）}}{\{ \text{（工事着手日から工事完成日までの期間）} - \text{（一時中止期間等の控除期間）} \}} \times 28.5\%$$

なお、28.5%は、週休2日の場合の現場閉所率（28.5 ≒ 2/7）。

3 実施時期

令和2年10月1日以降に入札公告等を行う工事から実施

2 建政技第 106 号
令和 2 年(2020 年) 7 月 8 日

現地機関の長 様

技 術 管 理 室 長

新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防における現場管理費の補正
について (通知)

国土交通省直轄工事における令和 2 年 7 月 1 日付け事務連絡「新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防に向けて」において、「熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行について」に関して、真夏日を「日最高気温が30度以上の日」と定義しているが、当面の間、新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防にあたっては、「日最高気温が28度以上の日と読み替えて対応されたい」旨通知されたことを踏まえて、建設部発注工事については、下記のとおりとしますので、適切な業務執行をお願いします。

記

1 日最高気温

新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防を実施した工事^{※1}について、当面の間、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領 第 2 (2) の「日最高気温が 30 度(℃) 以上の日」を「日最高気温が 28 度 (℃) 以上の日」に読み替えるものとする。

※ 1 マスクと併用可能な空調機器等(空調機能付き作業服、首掛けクーラー等)、冷感スプレー等の新型コロナウイルス対策に伴う熱中症リスク軽減対策を実施した工事

2 適用日

- ・令和 2 年 7 月 1 日以降に契約した工事から適用する。
- ・令和 2 年 2 月 26 日^{※2}から令和 2 年 7 月 1 日に契約した工事についても、変更契約ができる工事については、適用する。

※ 2 技術管理室から現地機関に対して、工事現場における新型コロナウイルス感染予防対策の徹底を最初に通知した日

3 その他

- ・新型コロナウイルス対策に伴う熱中症予防の実施内容については、受注者から実施事項報告書(様式任意)及び実施内容を確認できる資料(写真等)を工事打合せ簿

で提出してもらい、確認してください。

- ・災害復旧工事についても、本通知の対象とする。(設計変更協議の申出は不要)
- ・営繕工事については、本通知の対象外とする。

建設部建設政策課技術管理室 (基準指導班) (室長) 青木 謙通 (担当) 塚田 博 電 話 : 026-235-7323 (直通) F A X : 026-235-7482 E-Mail : gijukan-kijunshido@pref.nagano.lg.jp

令和2年度 ICT 活用工事等への取組について

建設産業の生産性向上や、魅力の創出による担い手確保のため、ICT 技術の活用と BIM/CIM の推進に積極的に取り組めます。

1 令和元年度 ICT 活用工事の実施状況

- ・ICT 土工 44 件 (内発注者指定 17 件)
 - ・ICT 舗装工 10 件 (内発注者指定 3 件)
 - ・その他 3 件
- 計 57 件 (内発注者指定 20 件)

2 令和2年度 ICT 活用工事の実施方針

- ・原則として、建設部が入札公告する全工事を対象とする
- ・ICT 技術の一部活用を可能とする。また発注者指定型を一定数実施する

3 工種の追加及び歩掛改訂 (R2. 10. 1 予定)

- 工種追加 ICT 地盤改良工 (深層混合処理)
- ICT 法面工 (吹付法枠工)
- ICT 舗装工 (修繕工)
- 歩掛改定 ICT 建機 市場単価を反映
- 出来型管理 補正係数を設定 (共通仮設費、現場管理費)
- 小規模施工への積算対応 (見積)

4 総合評価における加点

公告日時点で履行実績証明書の発行日から1年以内の実績を有する企業、および2年以内の実績を有する技術者が対象。(対象工事：予定価格8千万円以上)

5 BIM/CIM の推進について

BIM/CIM (ビム・シム) とは、公共事業の計画・設計から施工、管理、更新に至る一連の建設生産システムにおいて3次元モデルを導入し、各段階での情報の一元管理によって業務の効率化・高度化を図る取組

① BIM/CIM 活用業務 実施要領 (案) (R2. 4 適用)

- ・受注者の希望により、CIM モデルによる設計を実施できることとした。

② 信州 BIM/CIM 推進協議会 (R1. 10. 31 設立)

- ・令和2年度は、各種研修やモデル事業を通じた勉強会等を実施する予定

【 建設産業における担い手の確保・育成と生産性の向上について 】

施策の視点	事業・取組	H30年度	R元年度	R2年度
		実績	実績 (3月末時点)	予定
担い手の確保・育成	【就労促進】 ・木造建築物の担い手確保に向けた啓発事業 ・建設系学科高校生を対象とした就労促進事業 ・建設技術実践プロジェクト事業※1 ・2級土木・建築施工管理技士試験準備講座 ・戦略的広報推進チーム検討会議 ・一般対象の見学会	9校 21ヶ所 648人 13校 2,644人 3校 — 1回 99回	12校 34ヶ所 1,031人 13校 1,904人 3校 5会場 (土木3,建築2) 1回 75回	34ヶ所 (予定) 13校 (予定) 2校 (予定) 拡充 ※5 継続 継続
	【週休二日】 ・入札参加資格で加点 ・週休2日工事の拡大実施 週休2日モデル工事 (H29:66件) 週休2日の実績を評価する入札 (総合評価) 週休2日の確保を評価する入札 (総合評価) (H29試行42件)	869者 加点 339件 — —	943者 加点 483件 — —	949者 加点 (R2.5時点) 継続 — 9月～
	【その他労働環境改善】 ・現場環境の改善 (女性用トイレ、更衣室等) ・現場環境改善費の計上 ・建設企業の社会保険等未加入対策 ・適正な労働賃金の支払を総合評価で加点評価	継続 継続 強化※2 37件	継続 継続 継続 24件	継続 継続 継続 改善 ※6
	人材の育成 ・担当した技術者の名前を刻もうプロジェクト ・優良技術者表彰 一般部門 ・ " 若手部門 ・若手技術者の配置を総合評価で加点評価	継続 59人 32人 56件	継続 58人 33人 51件	継続 継続 継続 継続
	経営環境の安定 ・失格基準等、低入札価格調査の改善 ・適正な工期設定 ・適時適切な設計金額の算定	一部改善※3 継続 継続	一部改善※4 継続 継続	継続 継続 継続
	平準化 ・ゼロ県債の活用 ・早期契約制度、フレックス工期の活用	26.3億円を設定 工事157件	21.2億円を設定 工事299件 委託205件	継続 継続
	ICTの活用 ・ICT活用工事の実施拡大	土工 16件 舗装 1件	土工 44件 舗装 10件 (ほか 3件 計57件)	継続
規格の標準化 ・コンクリート規格の標準化等による省力化	継続	継続	継続	
その他	長野県の契約に関する条例に基づく取組	継続	継続	継続
	長野県建設産業担い手確保・育成地域連携ネットワーク会議	設置 (7月) 施策方針の決定	2回開催 (7月、2月)	継続
	建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する長野県計画の取組	計画策定 (11月)	継続	継続

※1 H30まで「自分たちでつくろうプロジェクト」 ※2 建設工事標準請負契約約款の改正 (H30.10.1)

※3 建設工事：2億円の境撤廃、低入札価格調査導入、契約後確認調査廃止

※4 委託業務：低入札価格調査導入

※5 建築の中信会場、測量士補の講座3会場の実施拡充を調整

※6 建設キャリアアップシステムを活用した取組など、技能労働者の処遇改善に向けた新たな取組に発展

建設産業の次世代を担う人づくり推進事業について

1 事業概要

(1) 事業の目的

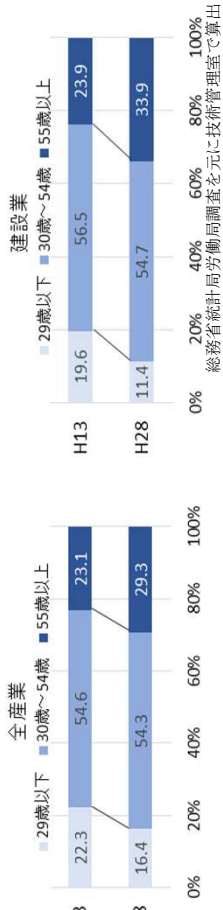
建設部門の専門教育を受けた数少ない高校生※1を一人でも多く建設業・測量設計業など地域を支える企業への就業につなげる。
 ※1 H29卒業公立高校卒業生の約21%、3,299人

(2) 事業の必要性

建設産業は全産業に比べ若手比率の低下と高齢化の進行が速く、持続的に地域を支えるには、建設産業への就業促進が必要。



裾花川カキガワロードの看板設置



(3) 事業内容

これまで実施してきた工事現場見学など建設産業の広報（ゼロ予算事業）に加え、産官学連携により、教育現場に必要な専門性を補完し、実践的かつ直接的に若者に働きかけ、建設産業への理解を深め、就業意欲の向上を図る。

事業	建設技術実践プロジェクト事業 【建設産業の魅力を感じ】						
対象	『2級土木・建築施工管理技術士』※1 『測量士補』資格取得支援事業 【担い手の育成、離職防止】 建設系学科高校生等（13校）※3						
事業概要	県下9会場（建築3、土木3、測量3会場）で実践的な資格の取得を支援する学科試験の準備講座を開催。						
役割分担	<table border="1"> <tr> <td>産</td> <td>技術者の派遣 資機材（重機、測量機器等）の提供</td> </tr> <tr> <td>学</td> <td>カリキュラムの編成、マネジメント</td> </tr> <tr> <td>官</td> <td>建設現場提供、講師費用負担</td> </tr> </table>	産	技術者の派遣 資機材（重機、測量機器等）の提供	学	カリキュラムの編成、マネジメント	官	建設現場提供、講師費用負担
産	技術者の派遣 資機材（重機、測量機器等）の提供						
学	カリキュラムの編成、マネジメント						
官	建設現場提供、講師費用負担						
事業効果	県内建設産業への就職率向上 合格率向上、意欲高い即戦力の育成						

注1 土木技術の基礎知識を証明する国家資格。主任技術者として責任ある立場で仕事ができる。

注2 飯田OIDE長姫、南安曇農業、長野工業

注3 注2の3校のほか、下高井農林、中野立志館、須坂創成、上田千曲、丸子修学館、佐久平総合技術、上伊那農業、木曾青峰、池田工業、長野高専

(4) 事業費 令和2年度予算額 2,288千円 (継続)



信州花フェスタ安曇野会場入口での石づくりに



資格試験の準備講座

2 建設産業の就業促進・働き方改革に資する19の取組

長野県就業促進・働き方改革戦略会議の建設分野別会議においてとりまとめた建設産業の就業促進・働き方改革に資する次の「19の取組※2」を産・学・官の関係機関※3が連携を強化して実行していく。

※2 「建設産業の次世代を担う人づくり推進事業」は、19の取組の①と②に該当

※3 産：建設業振興基金、長野県建設業協会、長野県測量設計業協会、長野県建設労働組合連合会
 学：長野県高校校長会工業部会
 官：長野労働局、関東地方整備局、(独法)高齢・障害・求職者雇用支援機構長野支部、長野県

区分	A 担い手の確保	B 担い手の育成	C 働き方改革
若者	<ul style="list-style-type: none"> ① 建設技術実践プロジェクト（対象：建設系学科高校生） ② 2級土木・建築施工管理技術士、測量士補試験準備講座（対象：建設系学科高校生） ③ SNS等による情報発信 ④ 普通高校等の教員・生徒と建設業界がつかいあえる機会確保 ⑤ 建設産業のPR（小中学生やその保護者を対象とした出前講座や現場見学の開催等） 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 建設産業入職への意向や入職後のキャリアアップの整理・情報発信 ⑦ 建設産業のPR（求職者を対象とした出前講座や現場見学の開催等） ⑧ 建設産業のPR（小中学生やその保護者を対象とした出前講座や現場見学の開催等） ⑨ 関係機関の支援施策の普及活用による資格取得促進 	<ul style="list-style-type: none"> ⑩ 賃上げ基金の支払いを促進する人件制度の移行 ⑪ 働き方改革や柔軟な働き方促進となる職場環境整備 ⑫ 社会保険等の加入対策と促進 ⑬ 理想の自給促進のための工期設定・増加設備の適正計上等 ⑭ 建設産業等の労働環境改善や担い手の充実・人材確保に向けた意識啓発等 ⑮ 一人1活用し職歴を最大限に活かす取組等の普及促進
女性	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 建設系学科高校の女子生徒増加の取組 ⑦ 女性技術者のネットワークづくりの支援 		
障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 各関係機関の支援施策の有効活用 		
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> (再掲)⑥ 各関係機関の支援施策の有効活用 		
UITター	<ul style="list-style-type: none"> (再掲)③ SNS等による情報発信 		
外国人	<ul style="list-style-type: none"> (再掲)⑥ 各関係機関の支援施策の有効活用 		

凡例

関係機関との連携強化

- ・ 支援策を整理した情報を建設業界と共有することによる支援策活用の利便性を向上
- ・ 建設産業の事業承継に係る奨励策に向けた連携強化
- ・ 施策の検証と改善、新たな取組の検証を継続実施(PDCA)

連携強化すべき取組

関係機関が単独で行う取組

建設系学科高校生の就労促進事業

◇建設技術実践プロジェクト～高校生への取組み支援～◇

高校生が自ら計画立案し、自らの手で構造物等(社会資本)を作り上げること、建設産業の魅力

- 産** 測量設計業協会、建設業協会
 ○技術支援 …… 測量設計及び現場施工の技術支援
- 官** 長野県飯田建設事務所
 ○広範での企画支援 …… 学びのフィールドとしての建設現場や機材提供
- 学** 飯田OIDE長姫高校(3年生の内7名が対象)
 ○設計・施工 …… 計画立案、自らの手で構造物を造り上げる

◎生徒たちの思い
 このプロジェクトを実施するにあたって、フィールドの決定が必要となった。そこで、生徒たちが普段から測量授業やアダプト活動の車列りを通じて親しみがある一級河川松川を今回のフィールドとした。松川は夏になると高校生達が川に飛び込んだり、部活の練習で利用したりする場所でもある。
 高校生達は、多くの市民が利用できるように配慮しながら全体計画を立案した。親水公園には、飯田の特微を活かしたバーベキューができる施設や対岸に渡れる飛び石を配置。親水公園に導く階段やランニングロードも計画されている。また、一般の方に多く利用してもらうための案内看板も設置したいという声もある。
 計画するにあたって事前に河川法について学び、その中で河川施設として必要な距離標※1があることを知り、自分たちでもつくってみたいということになり平成29年度に一部設置した。

◎令和元年度の取り組み内容

構 想 (5月～9月)	○長野県と高校の打合せ ○現地測量 ○産官学合同全体会議 令和元年度の実施内容の確立、役割分担の決定
現地測量 (8月)	○路盤の施工体験、インターロッキングブロック敷設 ○完成写真
"ものづくり" (9月～1月)	○校内課題研究会
まとめ (1月～3月)	○校内課題研究会



※1 対空標示とは、河口からの距離を提防に設置することで、維持管理に役立てるとともに、河川利用者の目に付きやすいので、散歩やジョギング時の距離の目安、河川内で発生した事故等の場所をわかりやすく伝える手段として利用するためのものです。最近では距離標とあわせて、上空の防災へりなどから確認できるように大きな文字(対空標示)を提防に書くことも行っています。

OIDE
長野県飯田建設事務所

松川プロジェクト

～高校生と地域の匠たちにより、かわる松川！とびこめ、わたろう！ 郷土のリバーパーク～

飯田OIDE長姫高校

平成29年度の生徒たち

生徒が考えたパース図

平成30年度の生徒たち

◎平成30年度の取り組み

構 想 (5月～9月)	○長野県と高校の打合せ 施工場所の適所選定、施工者への協力依頼、役割分担、授業内容とスケジュールの打合せ。 (平成30年度は、10月以降に授業の一環として実施)
"ものづくり" (10月～2月)	○現地調査 新しいメンバーと一緒に現地調査をして、先輩たちが計画した内容を確認する。また、自分たちがつくりたいものをイメージしてもらい、計画を見直す。 ○調査・測量、設計 測量設計業協会のご協力により、対空標示(0.5km地点)とランニングロードの測量を実施。 ランニングロードについては、縦断・横断の測量データから高さ計画を実施。 ○ランニングロードの施工と距離標の設置(建設業協会のご協力) 現場作業を通じて、ものづくりの楽しさを経験してもらった。施工内容は、高校生が携われる内容を盛り込む。例として、ランニングロードをインターロッキングとして、高校生が色の選定、模様子サインを敷き並べた模様を施す。各年度ごと色や敷き並べた模様を変えることで、個性のあるランニングロードとなる。 ○ランニングロードの設置(建設業協会のご協力) 現場作業を通じて、ものづくりの楽しさを経験してもらった。施工内容は、高校生が携われる内容を盛り込む。例として、ランニングロードをインターロッキングとして、高校生が色の選定、模様子サインを敷き並べた模様を施す。各年度ごと色や敷き並べた模様を変えることで、個性のあるランニングロードとなる。
まとめ(3月) ・発表会 ・引継ぎ	<p>H30.10.25 測量</p> <p>H30.10.23 測量</p> <p>H30.10.25 対空標示準備</p> <p>H30.10.9 計画検討会議</p> <p>H30.10.7 調査</p> <p>H31.1.18 課題研究発表</p> <p>新メンバーへ引継ぎ</p>

(別紙1) 令和2年度 就労促進に係る取組の概要

長野県 建設政策課 技術管理室

- 実施後は別紙2により、実施状況や感想を確認いただき、ご提出ください。
- 四半期ごとに実績を朱書き・水色着色してご提出ください。
- 修正があるときは、朱書き・黄色着色してご提出ください。

(赤色着色) R2新規

令和2年6月26日時点まとめ

担当事務所	実施高校	項目	実施概要	時期(月)	期間	対象学年	予定人数(人)	参加実績(人)	場所	協力団体	
佐久	佐久平総合技術高等学校 (浅間キャンパス) 食農クリエイト科 環境共生コース	工事現場見学	現場視察3箇所、実習	中止	1日	3年	23		東信地方	建設業協会 南佐久・佐久支部	
		工事現場見学	現場視察2箇所、実習	11月上旬	半日	2年	19		東信地方	建設業協会 南佐久・佐久支部	
		企業実習	インターンシップ	中止	3日	3年	若干名		東信地方	建設業協会 南佐久・佐久支部	
上田	上田千曲高校	工事現場見学		5月26日	1日	3年	41		東北信地区	建設業協会 上小支部	
		企業実習	インターンシップ	7月下旬～ 8月上旬	2日 ～3日	2年	40		東北信地区	ハローワーク	
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級建築施工管理技士(学科)	8月上旬	3日	1年 2年	希望者		長野市内	建設業協会 本部	
		企業説明会		11月～12月	半日	1年 2年	86		校内	建設業協会 上小支部	
丸子修学館高校	丸子修学館高校	工事現場見学	ICT活用	通年	半日	2年 3年	36 17		上小地区	建設業協会 上小支部	
		現場実務実習	(測量設計等)ICT活用	通年	半日	2年 3年	36 17		上小地区	測量設計業協会 東信支部	新
		現場実務実習	丁張技術実習	5月22日	1日	3年	17		校内	建設業協会 上小支部	新
		実技講習 (重機操作等)	文化祭等で来客、子供用イベントとして開催希望	7月4日、5日	2日	2年 3年	36 17		上小地区		新
		企業実習	インターンシップ	10月 11月	1日 2日	2年 1年	36 40		校内	建設業協会 上小支部	
		室内 専門分野講習	(測量設計等)ICT活用	通年	半日	2年 3年	36 17		上小地区	測量設計業協会 東信支部	新
		室内 専門分野講習	型枠設置研修	11月	半日	2年	36		校内	長野県型枠事業 協同組合	新
		室内 専門分野講習	配筋研修	12月	半日	2年	36		校内	長野県鉄筋業協 会	新
		一般講習	公共事業事例等	中止	半日	2年 3年	36 17		上小地区		新
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級土木施工管理技士(学科)	夏季休業中 8/6～8/10	5日	2年 3年	36 17		上小地区 or長野市	建設業協会 本部	
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級建築施工管理技士(学科)	夏季休業中 8/6～8/10	5日	2年 3年	36 17		上小地区 or長野市	建設業協会 本部	
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 測量士補	3月下旬	5日	2年 3年	36 17		上小地区 or長野市	測量設計業協会	新
		企業説明会		通年	半日	2年 3年	36 17		上小地区	建設業協会 上小支部	
		建設技術実践プロジェクト	通年	通年	半日	3年	5		上小地区	建設業協会 上小支部	新
		企業・行政と学生・教員の 交流、相談など	通年	通年	半日	1年	223		丸子地区		新
		諏訪	富士見高校	現場実務実習	測量設計等	後日調整					測量設計業協会
伊那	上伊那農業高校	工事現場見学	大規模現場にて	9月～11月	1日	2年	20		県内 (南信地区)	建設業協会 伊那支部	
		工事現場見学	大規模現場にて	4月～6月	1日	3年	21		県内 (南信地区)	建設業協会 伊那支部	
		工事現場見学	建設技術フェア2020in中部	10月14日 又は15日	1日	2年	20		名古屋市	建設業協会 伊那支部	新
		現場実務実習	丁張実習	9月～11月	半日	3年	21		上伊那地区	建設業協会 伊那支部	
		現場実務実習	最新機器による測量実習	9月頃	半日	2年	20		校舎内	測量設計業協会 南信支部	
		実技講習	重機操作実習(バックホウ)	10～12月	半日	2年	20		校舎内	建設業協会 伊那支部	
		企業実習	インターンシップ	7～8月 3月	数日	2年 3年	希望者		上伊那地区	建設業協会 伊那支部	
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 施工管理技士等(学科)	放課後16:00 ～17:00	可能な範囲で	2年 3年	希望者		上伊那地区	建設業協会 本部	新
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 測量士補	放課後16:00 ～17:00	可能な範囲で	2年 3年	希望者		上伊那地区	測量設計協会 事務局	新

担当事務所	実施高校	項目	実施概要	時期(月)	期間	対象学年	予定人数(人)	参加実績(人)	場所	協力団体		
飯田	飯田OIDE長姫高校 (社会基盤工学科)	工事現場見学	学校行事日の実施	5月~6月	1日	全学年	120		県内、東海地区			
		工事現場見学		11月頃	半日	2年	40		南信	建設業協会 飯田支部		
		現場実務実習	測量設計等	6月頃	1日	3年	40		学校周辺	測量設計業協会		
		実技講習	重機操作等	12月頃	半日 2回	1年	40		校地内			
		企業実習	インターンシップ	8月下旬頃	2日	2年	40?		下伊那地区	建設業協会 測量設計業協会		
		行政機関職場体験	インターンシップ	8月下旬頃	2日	2年	40?		下伊那地区			
		専門分野講習	測量設計等	6月頃	1日	3年	40		学校内	測量設計業協会		
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級土木施工管理技士	8月~9月	3日	2、3 年希望者	40?		学校内	建設業協会 本部、飯田支部		
		資格関係講習	刈払機安全教育	6月頃	半日	2年	40		学校内	建設業協会 飯田支部		
		企業説明会		11月頃	半日	2年	40		S/バード	建設業協会 飯田支部、測協		
		建設技術支援実践プロジェクト	課題研究(一級河川松川におけるランニング ロード、インターロッキング設置)	6~1月	週1回	3年	10?		松川河川	建協飯田支部、 測協		
		松川アダプトプログラム		5月~11月	適宜	3年	40		松川河川			
		地域人材育成	文科省「地域との連携による高校改革推進事業」		1日	3年	40		学校内	建設業協会 飯田支部		
		飯田	飯田OIDE長姫高校(建築科)	工事現場見学	「土木の日」に合わせた現場見学会	11月	半日	2年	40		飯田市内	建設業協会 飯田支部他
				企業職場体験	インターンシップ	9月	1日	2年	28		飯田下伊那地区	建設業協会 飯田支部
行政機関職場体験	インターンシップ			10月上旬頃	2日	2年	12		飯田下伊那地区			
専門分野講習	瓦葺き実技講習会			11月	半日	2年	40		校内	瓦事業組合		
専門分野講習	設計ワークショップ			9月	半日	1年 2年	80		校内	建築士会		
専門分野講習	課題研究ワークショップ			5月	1日	3年	35		校内	建築士会		
専門分野講習	建設現場安全教育実技講習会			9月	半日	3年	35		校内			
資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級建築施工管理技士			8月	3日	2年、3年 希望者	40		校内	建設業協会 本部、飯田支部		
地域人材育成	文科省「地域との連携による高校改革推進事業」				1日	3年	40		校内	建設業協会 飯田支部		
木曾	木曾青峰高校	現場実技講習	丁張実習	5月	1日	3年	31		木曾町	建設業協会 木曾支部		
		現場実務実習	測量講習会	6月	2時間	2年	16		校内	測量設計業協会		
		その他講習	刈払機取扱作業安全衛生研修	9月	1日	2年	34		校内	建設業協会 木曾支部		
		専門分野講習	JW-CADによる図面作成	9月	2時間	3年	10		校内	建設業協会 木曾支部		
安曇野	南安曇農業高校	工事現場見学	土木・環境等(建設協)	中止	1日	1年	40		安曇野地区	建設業協会 安曇野支部		
		工事現場見学	舗装工事現場見学または橋梁工事現場見学	中止	半日	2年	40		安曇野地区	建設業協会 安曇野支部		
		現場実務実習	路線・GNSS・平板測量等(測協)	9月17日	1日	2年	40		本校 第二農場	測量設計業協会		
		現場実務実習	鉄筋結束、型枠製作	9月1日	半日	2年 土木系	30		校舎内	建設業協会 安曇野支部		
		現場実務実習	U字溝設置	10月22日	半日	2年 土木系	30		本校 第二農場	建設業協会 安曇野支部		
		実技講習	重機運転実務研修(バックホウ)	9月10日	半日	2年 土木系	30		本校 第二農場	建設業協会 安曇野支部		
		企業実習	(インターンシップ)建設業・造園業・コンサル等 (建設協・測協・造園組合)	中止	5日間	2年	40		中信地区			
		専門分野講習	(測量・設計業務)コンサルタント業務	2月10日	半日	2年 造園系	10		校舎内	中央工学校依頼		
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級土木施工管理技士	調整中	3日間	3年	30		校舎内	建設業協会 本部		
		建設技術実践プロジェクト	IS測量実習 あづみ野やまびこ自転車道リニューアル	中止	4回	3年	15		安曇野地区	測量設計業協会		
		建設技術実践プロジェクト	旧道の残地を利用した歩道づくり (インターロッキングブロック敷設体験)	中止		2年	調整		安曇野地区	建設業協会 安曇野支部		

担当事務所	実施高校	項目	実施概要	時期(月)	期間	対象学年	予定人数(人)	参加実績(人)	場所	協力団体
大町	池田工業高校	工事現場見学	(昨年と同様に1日で見学・講習を行って欲しい。)	9月～10月	4h	2年	22		大北地区	建設業協会 大北支部
		現場実務実習	測量実習	9月～10月	2h	2年	22		大北地区	建設業協会 大北支部
		実技講習	重機操作等	9月～10月	2h	2年	22		大北地区	建設業協会 大北支部
		企業実習	インターンシップ	7月末～8月上旬	1～3日	2年	22		中信地区	
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級建築施工管理技士							建設業協会 本部
学校調査票に記載無し										
須坂	須坂創成高校	実技講習	重機操作等	7月下旬または8月上旬	半日	2年	39		調整	建設業協会 須坂支部
		現場実務実習	コンクリート工等	中止	調整	調整	調整		調整	建設業協会 須坂支部
		現場実務実習	測量実習(光波による測距等)	7月下旬～8月上旬	半日	2年	2月7日		高校	建設業協会 須坂支部
		室内講習	若手就業者によるパネルディスカッション(若手就業者の方々による仕事のやりがいや苦労、高校生へのメッセージなどを講演)、優良技術者表彰を受けた技術者の現場発表等	中止	半日	2年	39		高校教室	建設業協会 須坂支部 枝主会 須坂支部
長野	長野工業高校(土木科)	工事現場見学		通年	半日	全学年	各40以下		北信地区	建設業協会 長野支部
		企業実習	インターンシップ	夏期休業中	1～3日	1年 2年	40 希望者		市内事業所	建設業協会 長野支部
		企業実習	インターンシップ	夏期休業中	1～3日	1年 2年	40 希望者		市内事業所	測量設計業協会
		専門分野講習	UAV研修会	10月	半日	1年	40		校内	市内企業
		専門分野講習	測量技術研修会	6月	1日	2年	40		校内	測量設計業協会
		専門分野講習	丁張設置研修会	5月	1日	3年	36		校内	建設業協会 長野支部
		専門分野講習	土質試験他研修会	6月	1日	3年	36		校内	市内企業
		専門分野講習	配筋研修会	10月	半日	2年	40		校内	長野県鉄筋業協会
		専門分野講習	型枠設置研修会	11月	半日	2年	40		校内	建設業協会 長野支部
		資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級土木施工管理技士	8月	3～5日	2,3年	希望者		校内、市内	建設業協会 本部
	資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 測量士補	3月	3～5日	1,2年	希望者		校内、市内	測量設計業協会	
	企業説明会		6月	半日	3年	36		校内		
	建設技術実践プロジェクト	裾花側ジョキングロード整備	7～12月	3h/日	3年	12		校内・校外		
	長野工業(建築科)	工事現場見学	(移動バス代補助希望)	11月27日	半日	1年 3年	40 38		北信地区	建設業協会 長野支部
	専門分野講習(測量設計等)	積算講習	別途協議	別途協議	2年	41		校舎内		
専門分野講習(鉄筋結束等)	施工図講習	別途協議	別途協議	3年	38		校舎内			
資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級建築施工管理技士	8月上旬	3日間	2,3年	希望者		長野市内	建設業協会 本部		
長野工業高等専門学校	工事現場見学	※午後バス移動可能な現場	4月	半日	3年	45		北信	建設業協会 長野支部	
	工事現場見学	※午後バス移動可能な現場	11月	1日	3年	45		県内	建設業協会 長野支部	
	現場実務実習	土木遺産の測量(例年実施) R1に実施できなかった佐久五稜郭	11月	1日	3年	45		県内	測量設計業協会	
	企業実習	希望者が応募	7～9月	5日間	3,4年	数名		県内		
	企業実習	長期インターンシップ	10月以降	4ヶ月	専攻1年	数名		県内		
	行政機関職場体験	県、市町村のインターンシップ	7～9月 10月以降	5日間 4ヶ月	3,4年 専攻1年	数名		県内		
	資格関係講習	学科試験準備講座(資格取得支援事業) 2級土木施工管理技士	7～8月	別途協議	4年	40		校舎内	建設業協会 本部	
	企業説明会	※業界セミナーとして行政、各協会、一般企業の仕事の話	10～12月	別途協議	1年～4年	各40		校舎内		

1学期中の実習は中止

新

新

新

新

新

新

新

担当 事務所	実施高校	項 目	実施概要	時 期(月)	期間	対象 学年	予定 人数 (人)	参加 実績 (人)	場 所	協力団体
北信	中野立志館高校	工事現場見学		6月	半日	2年	22			建設業協会 中高支部・飯山支部
		工事現場見学		11月	半日	3年	26			建設業協会 中高支部・飯山支部
		現場実務実習	UAV測量実習	9月	半日	3年	26			測量設計業協会 北信支部
	下高井農林高校	工事現場見学		8月	半日	3年	14		学校近隣	建設業協会 飯山支部
		講義、実技講習	除雪車両の操作体験	夏季休業中(7 月下旬から8月 中旬)	半日	2年	29		学校内	建設業協会 飯山支部

建設系学科高校生等の建設産業への就労状況について(令和元年度)

令和2年3月1日現在

※ 農業科、工業科、総合学科のある高校等に対して、「土木系」、「農業土木系」、「建築系」、「造園系」の科目を専攻した生徒を対象に回答を依頼

高校名	学科名	R01就労 促進事業 実施 状況	次世代を担う 人づくり推進事業		卒業生 計 (1)+(2)+(3)	(1) 進学者数				(2) 就職者数										(3) 他 その他	建設系への 進学・就職		建設 産業 への 入職数		建設業・ 測量設計業 のうち 県内 就職 割合		
			建設 技術 実践 PJ	資格 試験 準備 講座		進学先専攻学科内訳		うち建設業(①+②+③+④)				うち測量・建設コンサル業(⑤+⑥+⑦)				人数	割合	人数	割合								
						技術系 (土木・建 築)	その他	就職先		就職先		就職先		公務員 (建設)													
								技術系 (土木・建 築)	その他	県内 技術 ①	県内 技能 ②	県内 事務 ③	県外 ④		県内 技術 ⑤						県内 事務 ⑥	県外 ⑦					
1	下井農林高校	○			66	30	30	8	8												1	8	12.1%	8	22.9%	100.0%	
2	中野立志館高校	○			14	4	3	1	4														8	57.1%	5	50.0%	100.0%
3	須坂創成高校	○			21	15	3	12	6	3													6	28.6%	3	50.0%	100.0%
4	長野工業高校	○	○	○	37	7	1	6	30	21	16	3	3	3									25	67.6%	24	80.0%	91.7%
5	上田千曲高校	○			36	20	13	7	16	16	7	3	1	5	0								29	80.6%	16	100.0%	68.8%
6	丸修学館高校	○	○	○	39	24	13	11	15	11	4	5	2	2	0								24	61.5%	11	73.3%	81.8%
7	佐久平総合技術高校	○	○	○	25	10	6	4	15	10	5	5										0	16	64.0%	10	66.7%	100.0%
8	上伊那農業高校	○			184	105	74	2	2	2					6	6						5	8	4.3%	8	10.8%	100.0%
9	飯田OIDE長姫高校	○	○	○	35	17	1	16	18	3	3				0								4	11.4%	3	16.7%	100.0%
10	木曾青峰高校	○			32	6	1	5	25	11	2				6	6						5	22	68.8%	21	84.0%	47.1%
11	南安豊農業高校	○	○	○	40	26	18	8	13	9	4	3	1	1	0							1	27	67.5%	9	69.2%	88.9%
12	池田工業高校	○			35	21	2	19	14	7					0								9	25.7%	7	50.0%	71.4%
13	長野工業高等専門学校	○			27	3	2	1	24	10					0								15	55.6%	13	54.2%	100.0%
14	池田工業高校	○			36	14	11	3	22	8					0							0	19	52.8%	8	36.4%	87.5%
15	長野工業高等専門学校	○	3校	5校	627	302	74	123	317	124	49	51	2	22	15	15	0	0	7	12	2	220	35.1%	146	46.1%	84.2%	
16	長野工業高等専門学校	○	12校 14学科	3校	36	10	10		24	20	6			14	4	3	1				2	34	94.4%	24	100.0%	37.5%	
17	長野工業高等専門学校	○	13校 15学科	3校	663	312	84	123	341	144	55	51	2	36	19	18	0	1	7	14	170	38.3%	170	49.9%	77.3%		
18	次世代を担う人づくり推進事業 実施校				236	96	54	42	138	88	38	29	2	19	9	9	0	0	7	6	158	66.9%	104	75.4%	80.4%		

※佐久平総合技術高校 創造実践科は、R元年度の当該就労促進事業の取組がないため、令和元年度の集計から除外した。

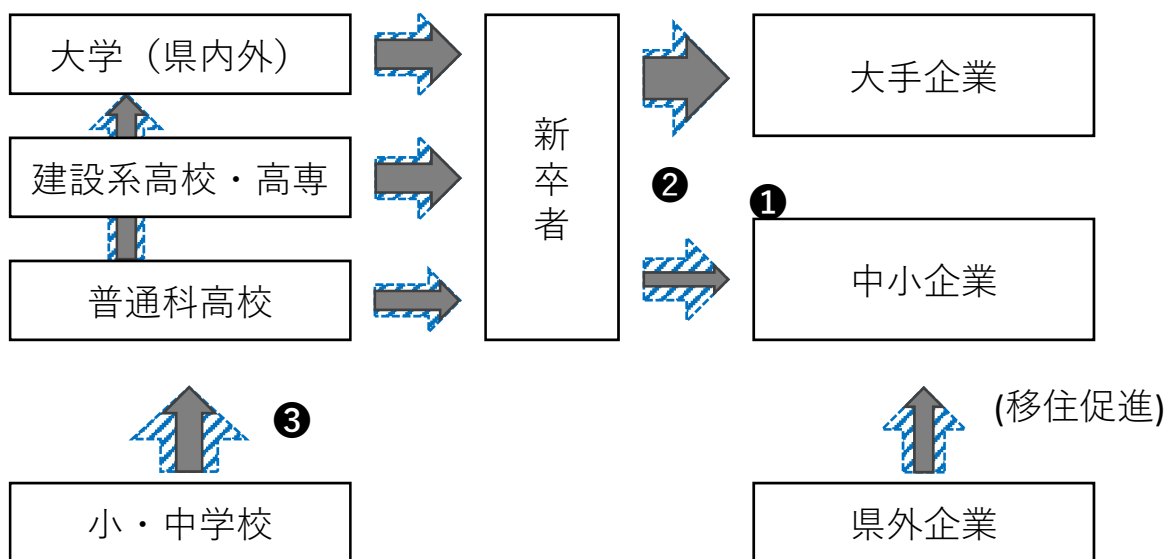
経営者意識調査・学生の就職に関する意識調査
人材確保・育成に関する分析について（1）

■ 意識調査結果から

- 経営規模が大きいほど新卒ニーズが高く、採用が多い
- 経営規模が小さい企業は、経験者ニーズが高い
- 不足している技術者・技能者は30歳代や経験者（即戦力）

→ 中小企業は人材育成の余裕がなく、新卒者を採用しにくい可能性

■ 人材確保・育成の課題



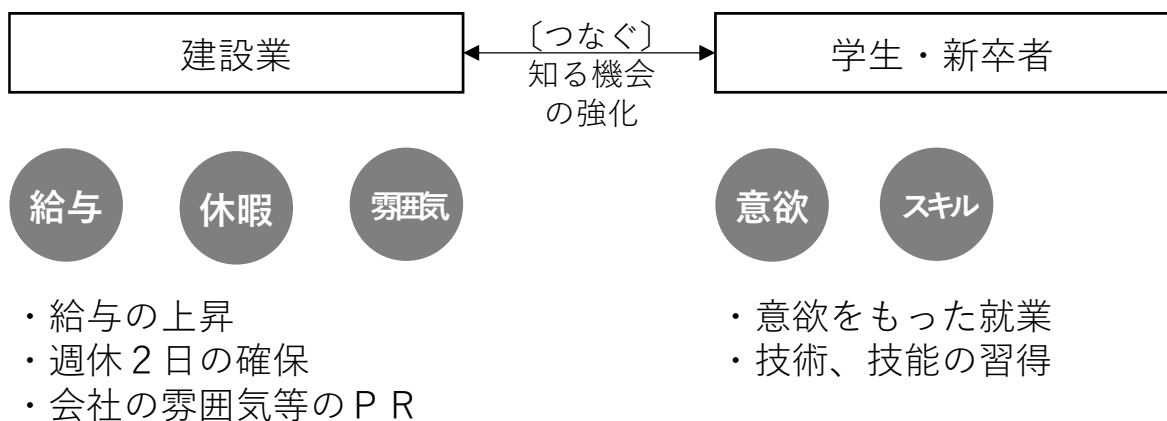
- ①人材を育成しやすい環境を整えるには
- ②新卒者の就業を増やすには
- ③産業への入職を底上げするには

経営者意識調査・学生の就職に関する意識調査 人材確保・育成に関する分析について（２）

■意識調査結果から

- | | | |
|-------------|---|------------------------------------------|
| 学生が企業に求めること | ▶ | 給与、休暇、会社の雰囲気、やりがい |
| 学生が知りたい情報 | ▶ | 労働の実態
・労働環境（給与、休暇）
・仕事内容
・働く人の声 |
| 企業が学生に求めること | ▶ | やる気、一定程度の知識 |
| 企業が求める人材 | ▶ | 30歳代、経験者などの即戦力 |

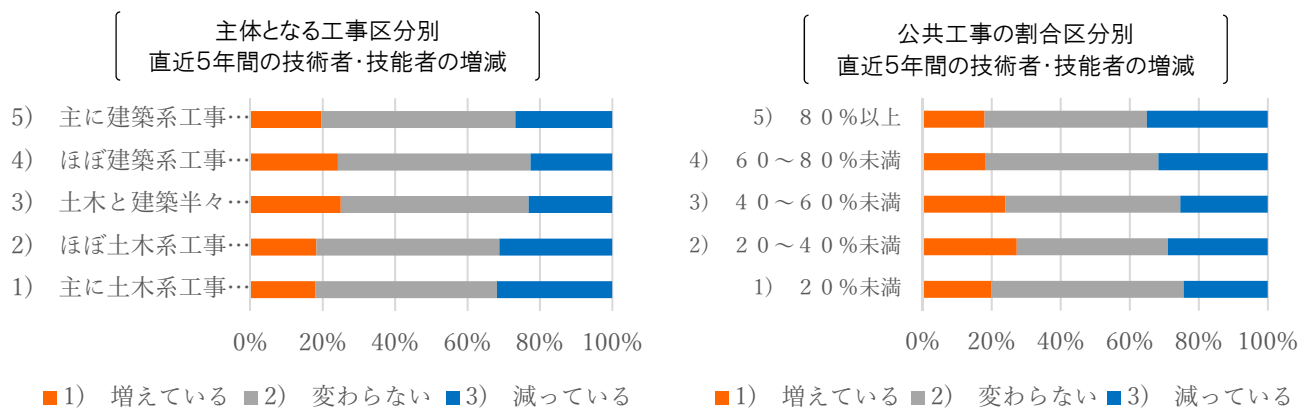
■人材確保の課題



人材確保に関する現状

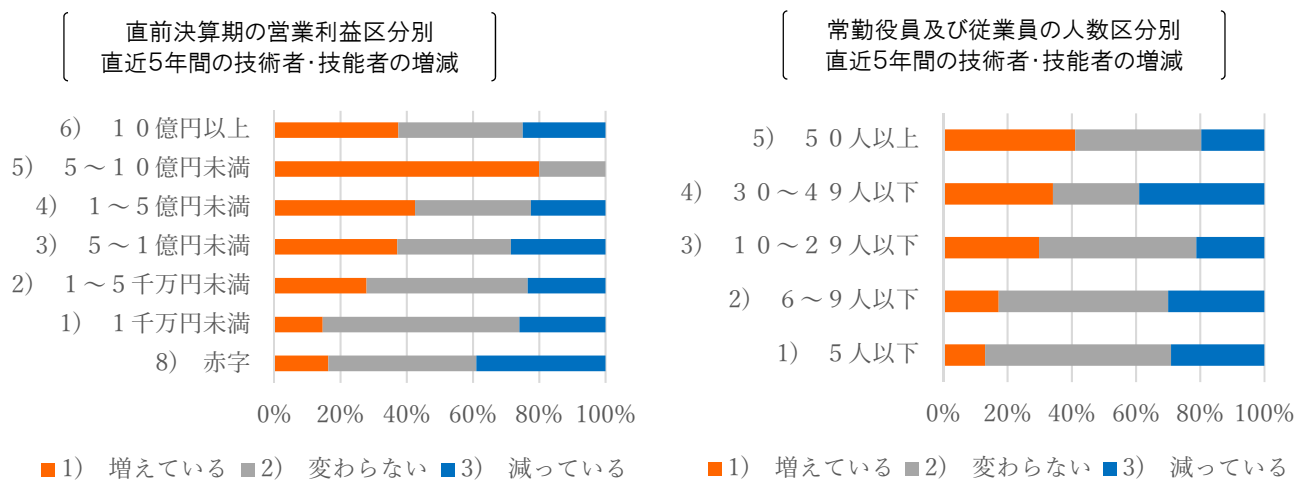
経営形態別の技術者・技能者の増減

「建築系工事」「民間工事」主体の企業で増加が見られる。一方で、「土木系工事」「公共工事」主体の業者では減少が見られる。



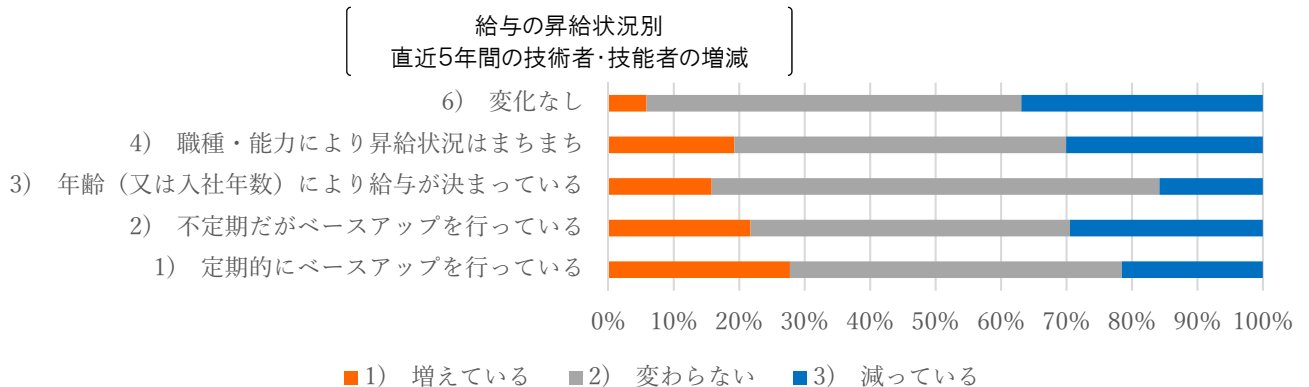
経営規模別の技術者・技能者の増減

営業利益、従業員数ともに、規模が大きいほど技術者・技能者が増加している割合が高い。



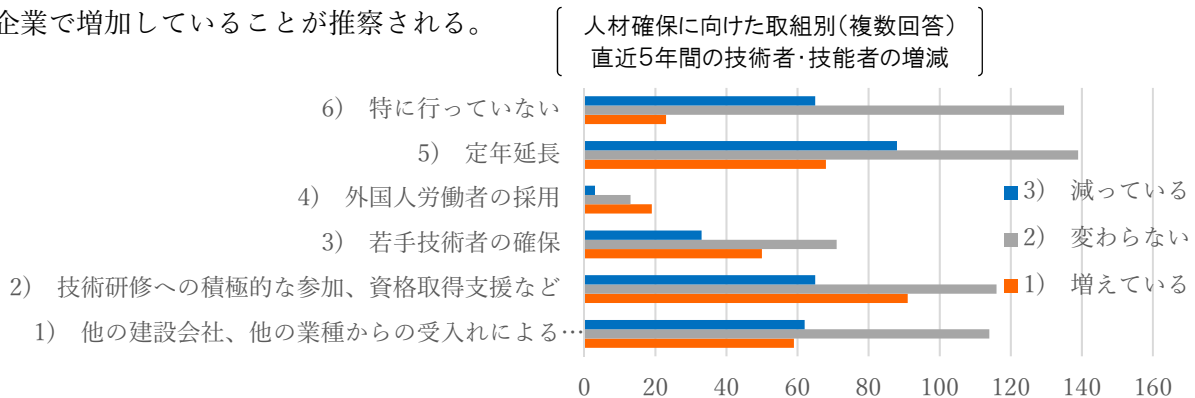
給与の支払状況別の技術者・技能者の増減

給与の昇給状況と、従業員の増減に関連性が見られる。



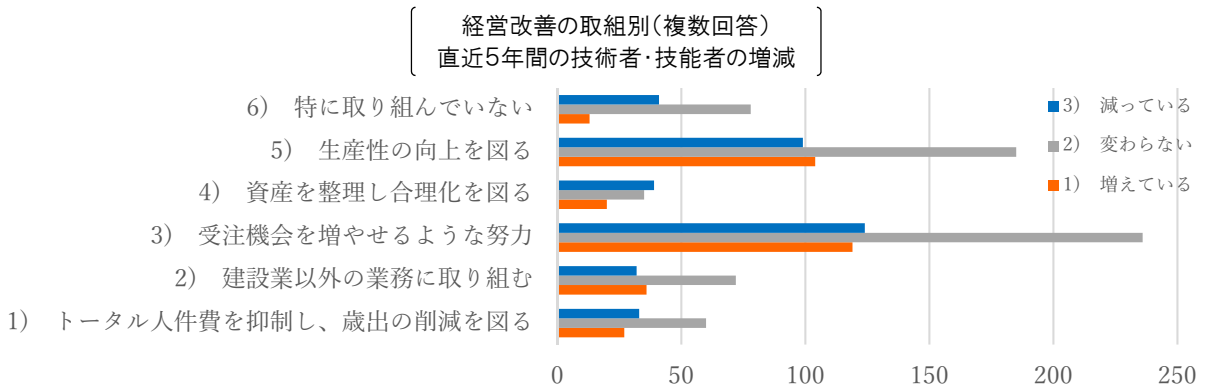
人材確保に向けた取組と技術者・技能者の増減との関連

「技術研修への積極的な参加、資格取得支援など」「若手技術者の確保」「外国人労働者の採用」に取り組む企業で、増加が減少を上回っており、経験が浅い人材の確保・育成に力を入れている企業で増加していることが推察される。



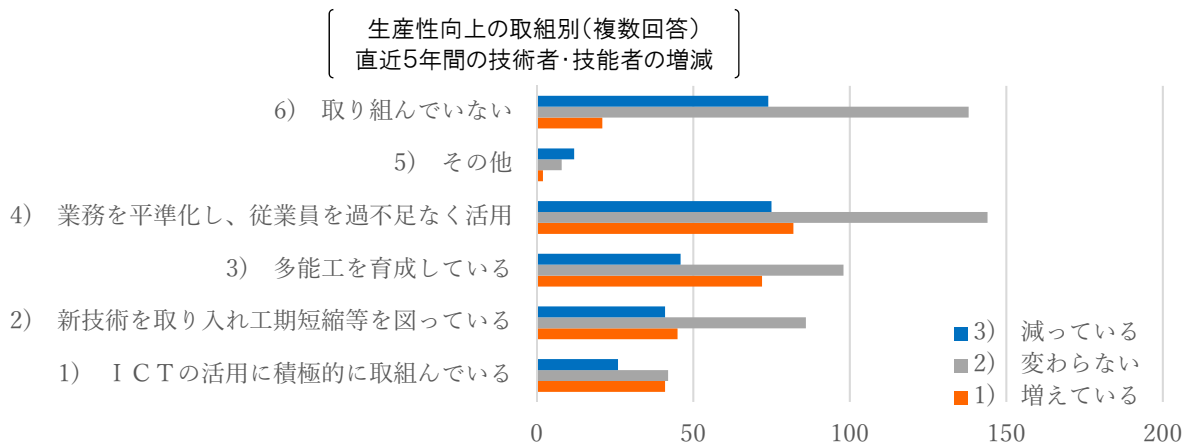
経営改善に向けた取組と技術者・技能者の増減との関連

「生産性の向上」「建設業以外の業務に取り組む」と答えた業者で、増加が減少を上回っている。



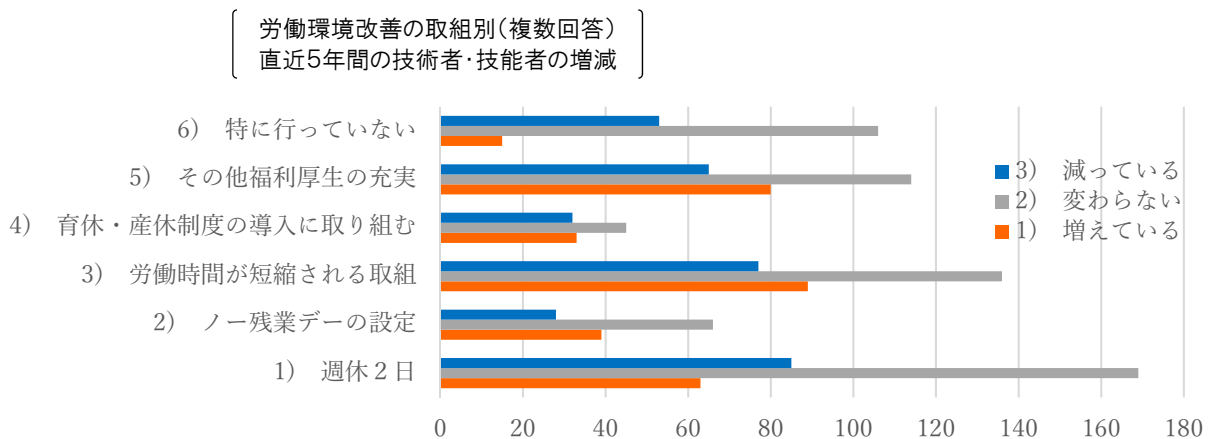
生産性向上のための取組と技術者・技能者の増減との関連

「ICTの活用」「多能工を育成」に取り組んでいる業者で、増加が減少を上回っている。



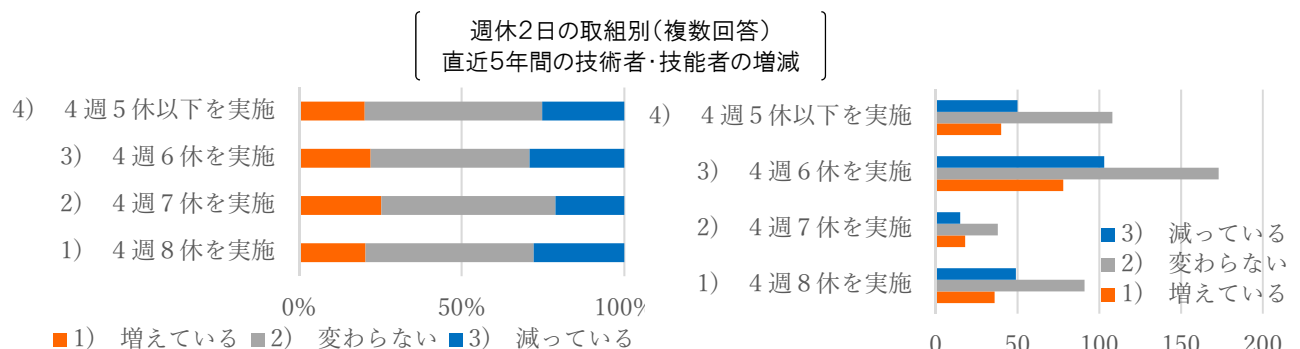
労働環境改善に向けた取組と技術者・技能者の増減との関連

労働時間の短縮や福利厚生の充実に取り組む業者で、増加が減少を上回っている。
一方で、週休2日に取り組んでいる業者は、増加が減少を下回っている。



週休2日の実施状況と技術者・技能者の増減との関連

週休2日の実施状況による増減の関連性は見られない。

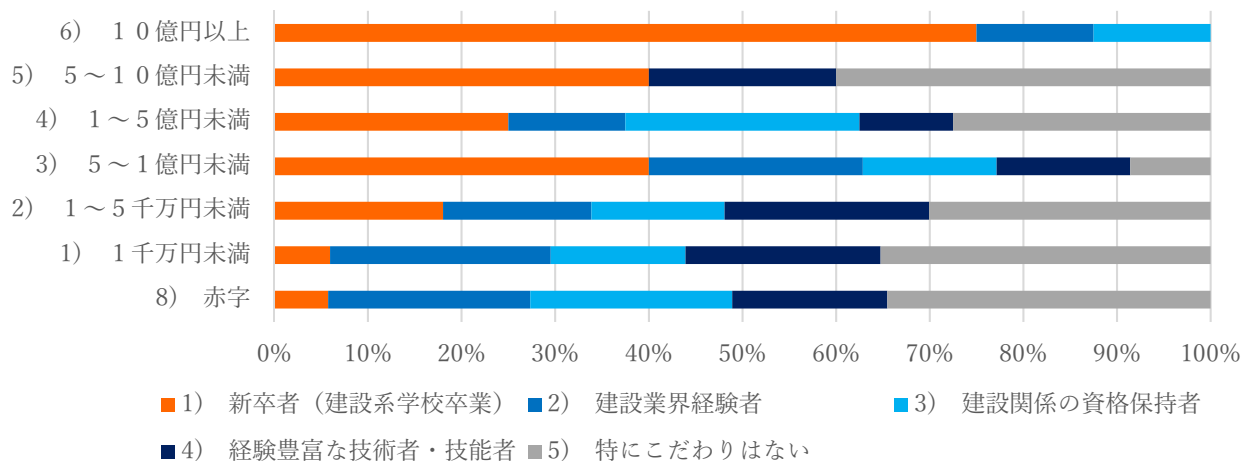


建設業が求める人材

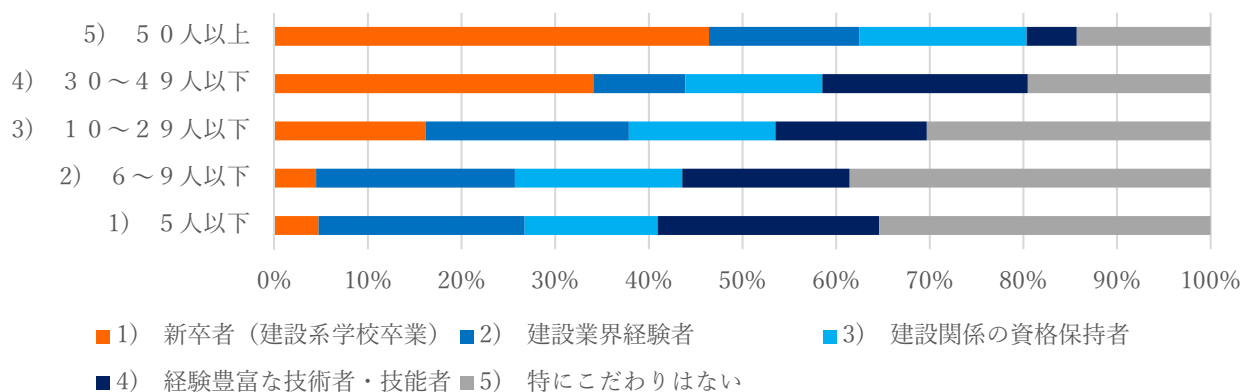
経営規模別の技術者・技能者の雇用ニーズ

経験者は企業の経営規模に関わらず一定のニーズがあるが、新卒者は経営規模が大きい企業ほどニーズが高い。

〔 直前決算期の営業利益区分別 雇用に係る優先事項 〕

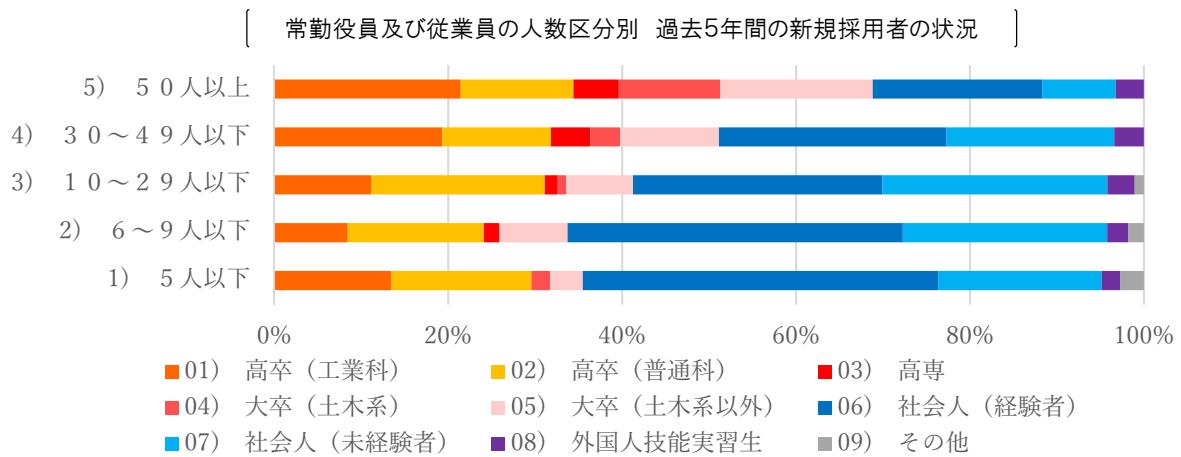
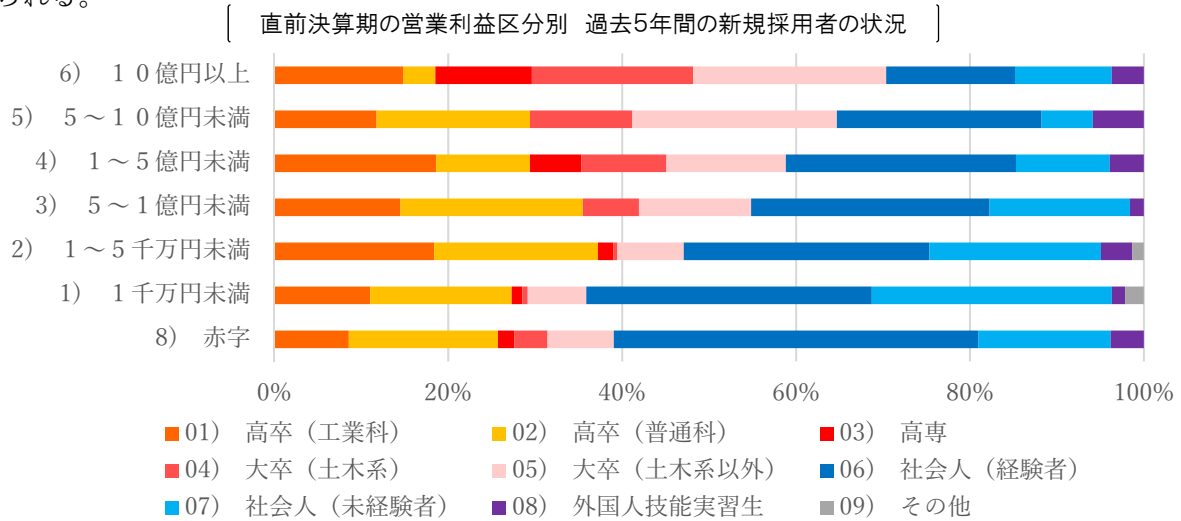


〔 常勤役員及び従業員の人数区分別 雇用に係る優先事項 〕



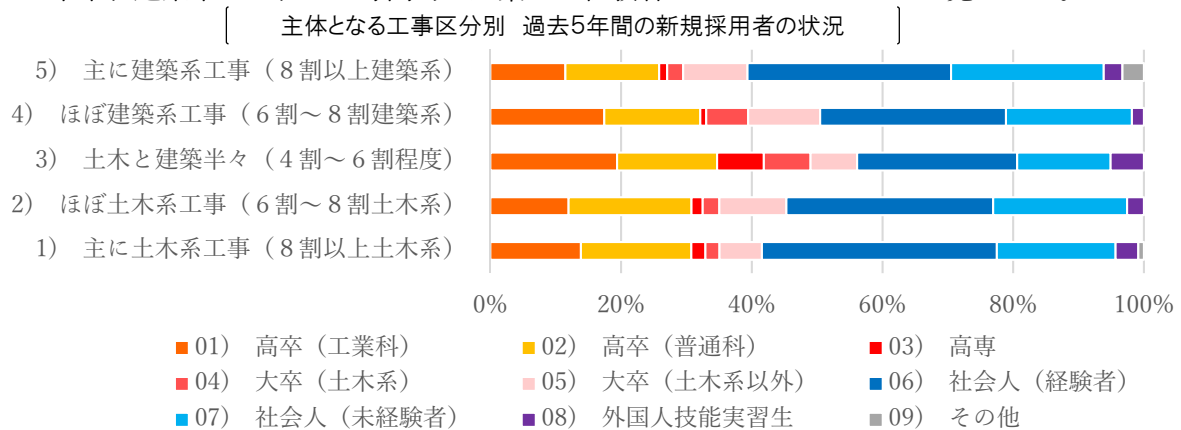
経営規模別の新規採用者の状況

新規採用者の状況からも、同様の傾向が見られる。特に、大学及び高専卒企業にその傾向が見られる。

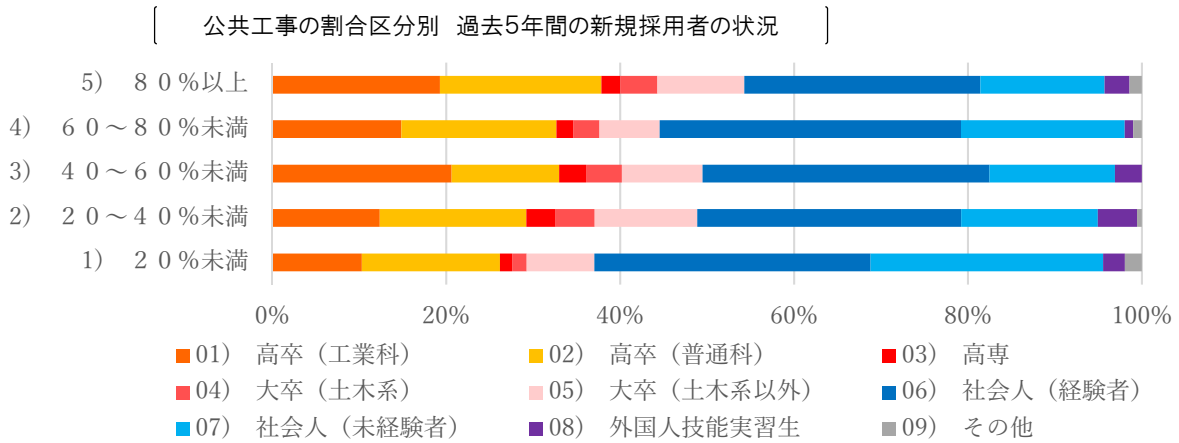


経営形態別の新規採用者の状況

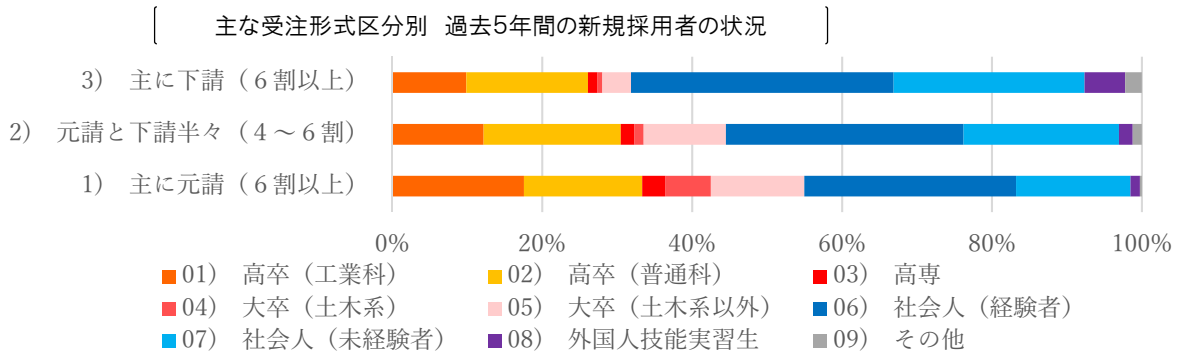
土木系、建築系とも、より専門的な企業ほど経験者のニーズがあることが見られる。



公共工事主体の企業ほど新卒者（特に工業科高卒者）の採用の割合が高い。

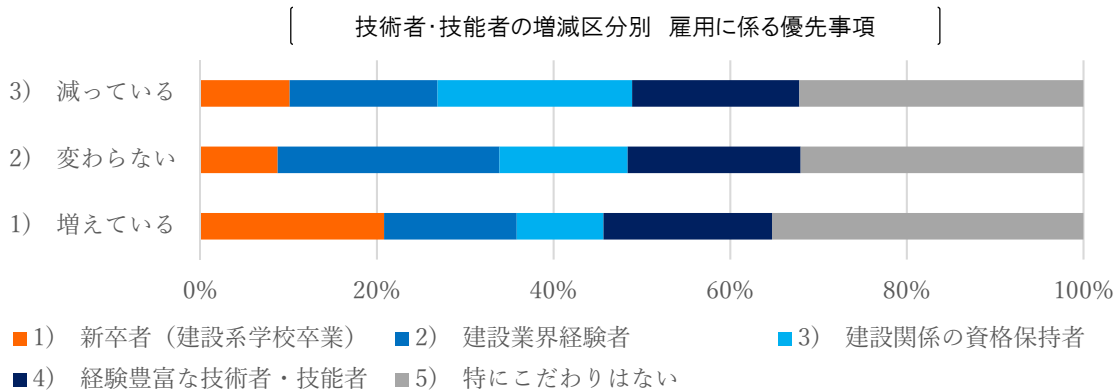


元請けの割合が高い企業ほど新卒者（特に工業科高、高専、大学卒）の採用の割合が高い。



技術者・技能者の増減と雇用ニーズとの関連

「増えている」と答えた企業は新卒者の割合が比較的高く、「減っている」「変わらない」と答えた企業は経験者を優先している傾向がある。

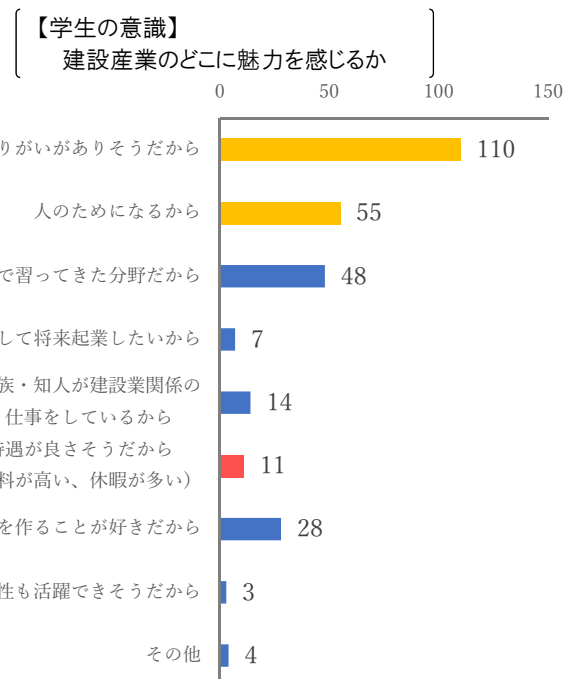
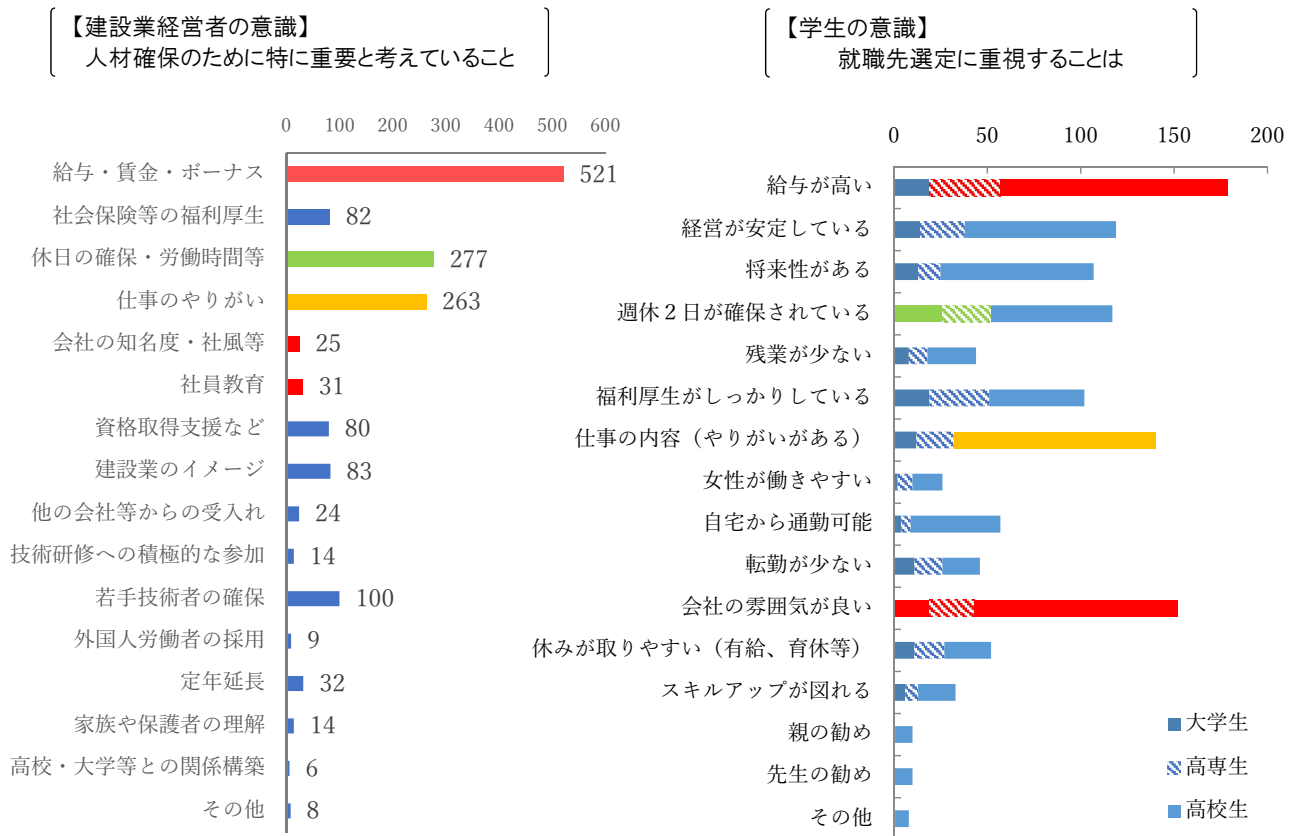


人材確保に関する建設産業と学生との意識の比較

人材確保のための魅力向上の観点

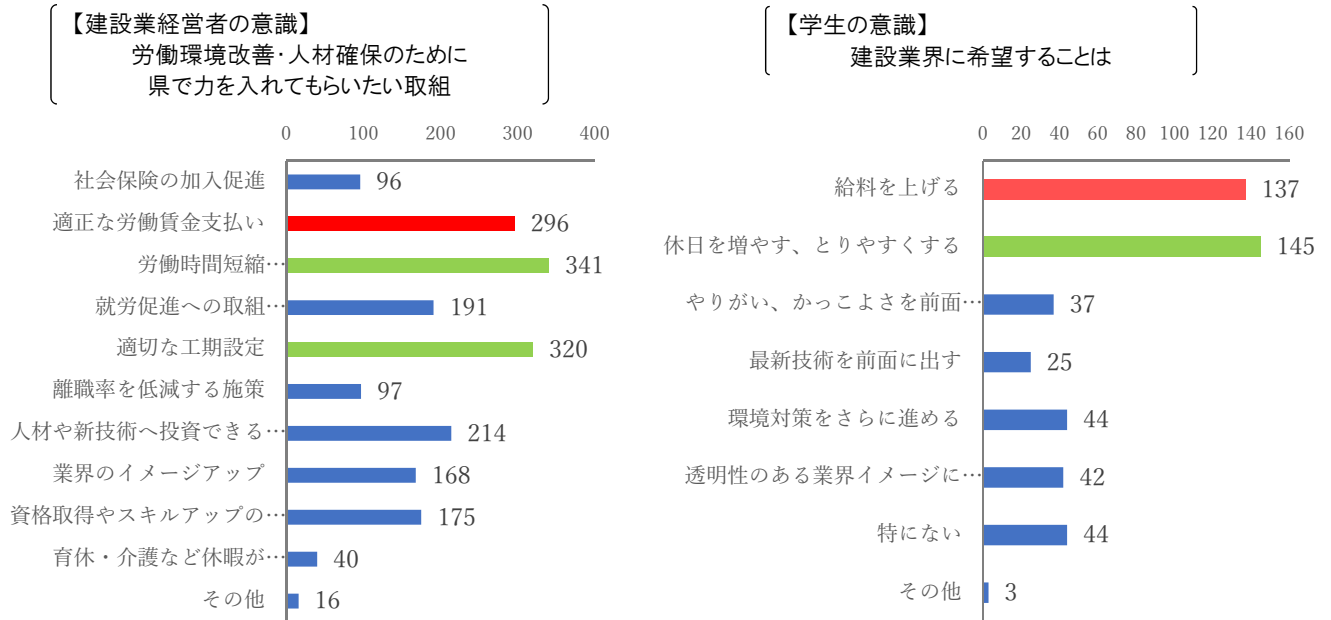
給与、週休、やりがいの面での意識は概ね一致しているが、経営者が社風等を重要視していない一方で、学生は会社の雰囲気等を重要視している。

学生が給与、休日を重視する一方、建設産業は魅力として感じられていない。



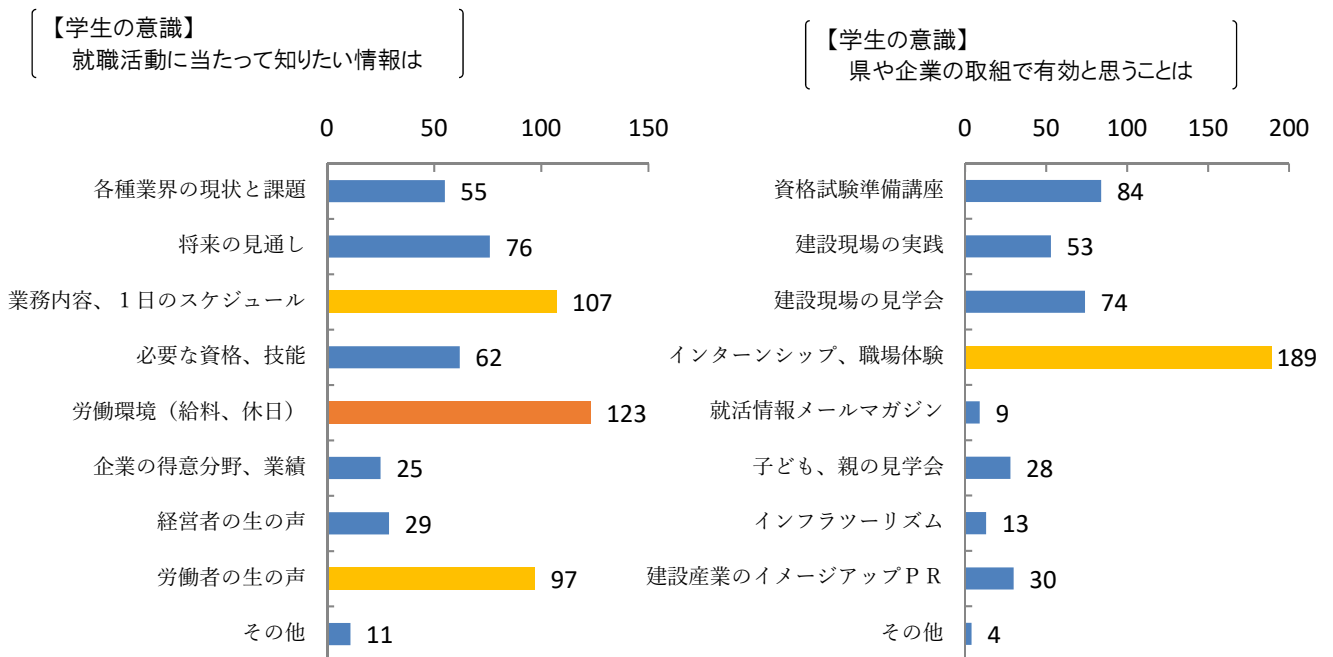
人材確保のために改善すべきこと

経営者、学生とも、給料や休日の改善を求めている。



学生が就職活動で知りたい情報、有効と思う取組

学生は、労働環境、具体の業務内容、働く人の声など、実態を知る機会を求めている。



「長野県職員 建設女性の会」の設立について

1 設立年月日

令和2年（2020年）7月20日

2 会員

建設系女性技術職員有志41名（令和2年7月20日現在）

3 設立目的（規約より）

長野県の建設産業において、将来に向け担い手を確保し、安定した経営を目指すための手法の一つとして、女性が活躍できる環境を整えることが必要である。

県内の建設産業で働く女性が、交流・連携するとともに、建設産業に係る情報を広く発信し、担い手の確保や労働環境の改善等、建設産業の活性化に繋がる活動を推進していくために本会を設立する。

4 活動（規約より）

- (1) 会員相互の連携を図り、意見交換会、研修会等を開催する。
- (2) 建設行政及び建設産業に関し、担い手（学生）への情報発信を行う。
- (3) 建設産業における関連組織と連携を図り、行事等に参加する。
- (4) 各部会の特色を生かした独自の活動を行う。
- (5) その他目的達成に必要な活動を行う。



設立総会（令和2年7月20日）の様子



（会長）
市岡契約・検査課長
（来賓）
田中建設技監
（来賓）
倉科女性部会長
（長野県建設業協会）

令和2年6,7月梅雨前線豪雨 公共土木施設災害被害報告一覧

令和2年7月22日 10時現在

建設部河川課

(金額:千円)

被災年月日別、県・市町村別		工種別								合計	
		河川		砂防		道路		橋梁			
		箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額
6/11~15	県	0	0	0	0	1	50,000	0	0	1	50,000
	市町村	0	0	0	0	3	18,000	0	0	3	18,000
	小計	0	0	0	0	4	68,000	0	0	4	68,000
6/30~7/1	県	21	667,000	1	30,000	19	681,300	0	0	41	1,378,300
	市町村	8	98,000	0	0	67	701,700	0	0	75	799,700
	小計	29	765,000	1	30,000	86	1,383,000	0	0	116	2,178,000
7/4~8	県	64	3,698,000	2	70,000	28	1,000,000	1	10,000	95	4,778,000
	市町村	4	58,000	0	0	127	2,792,700	1	30,000	132	2,880,700
	小計	68	3,756,000	2	70,000	155	3,792,700	2	40,000	227	7,658,700
7/10~12	県	85	1,520,000	1	20,000	15	4,720,000	0	0	101	6,260,000
	市町村	8	339,000	0	0	70	3,154,000	1	400,000	79	3,893,000
	小計	93	1,859,000	1	20,000	85	7,874,000	1	400,000	180	10,153,000
7/15~16	県	2	50,000	0	0	2	50,000	0	0	4	100,000
	市町村	0	0	0	0	5	120,000	0	0	5	120,000
	小計	2	50,000	0	0	7	170,000	0	0	9	220,000
県工事計		172	5,935,000	4	120,000	65	6,501,300	1	10,000	242	12,566,300
市町村工事計		20	495,000	0	0	272	6,786,400	2	430,000	294	7,711,400
合計		192	6,430,000	4	120,000	337	13,287,700	3	440,000	536	20,277,700

改良復旧事業予定箇所

(金額:千円)

路・河川名	市町村名	箇所名	復旧内容	災害費	改良費
(一)青木川	大鹿村	唐沢	護岸工、床止工、水制工	200,000	150,000
(主)天竜公園阿智線	泰阜村	唐笠	法面復旧工、拡幅改良工	300,000	150,000

令和2年6月～7月の大雨による被害状況

建設部河川課

令和2年7月22日 10時現在

(金額:千円)

事務所別、県・市町村別	河川		砂防		道路		橋梁		合計		
	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	箇所数	被害額	
佐久建設事務所	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市町村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上田建設事務所	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市町村	0	0	0	0	3	28,500	1	30,000	4	58,500
	小計	0	0	0	0	3	28,500	1	30,000	4	58,500
諏訪建設事務所	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市町村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
伊那建設事務所	県	4	170,000	1	50,000	3	150,000	1	10,000	9	380,000
	市町村	0	0	0	0	7	107,000	0	0	7	107,000
	小計	4	170,000	1	50,000	10	257,000	1	10,000	16	487,000
飯田建設事務所	県	116	2,994,000	1	30,000	35	5,521,300	0	0	152	8,545,300
	市町村	17	442,000	0	0	165	5,235,700	1	400,000	183	6,077,700
	小計	133	3,436,000	1	30,000	200	10,757,000	1	400,000	335	14,623,000
木曾建設事務所	県	21	331,000	1	20,000	5	150,000	0	0	27	501,000
	市町村	2	45,000	0	0	11	267,000	0	0	13	312,000
	小計	23	376,000	1	20,000	16	417,000	0	0	40	813,000
松本建設事務所	県	12	1,825,000	1	20,000	2	80,000	0	0	15	1,925,000
	市町村	0	0	0	0	2	60,000	0	0	2	60,000
	小計	12	1,825,000	1	20,000	4	140,000	0	0	17	1,985,000
安曇野建設事務所	県	0	0	0	0	1	10,000	0	0	1	10,000
	市町村	0	0	0	0	1	5,000	0	0	1	5,000
	小計	0	0	0	0	2	15,000	0	0	2	15,000
大町建設事務所	県	6	165,000	0	0	5	120,000	0	0	11	285,000
	市町村	0	0	0	0	8	166,000	0	0	8	166,000
	小計	6	165,000	0	0	13	286,000	0	0	19	451,000
千曲建設事務所	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市町村	0	0	0	0	1	10,000	0	0	1	10,000
	小計	0	0	0	0	1	10,000	0	0	1	10,000
須坂建設事務所	県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	市町村	0	0	0	0	3	7,200	0	0	3	7,200
	小計	0	0	0	0	3	7,200	0	0	3	7,200
長野建設事務所	県	11	400,000	0	0	12	420,000	0	0	23	820,000
	市町村	1	8,000	0	0	66	780,000	0	0	67	788,000
	小計	12	408,000	0	0	78	1,200,000	0	0	90	1,608,000
北信建設事務所	県	2	50,000	0	0	2	50,000	0	0	4	100,000
	市町村	0	0	0	0	5	120,000	0	0	5	120,000
	小計	2	50,000	0	0	7	170,000	0	0	9	220,000
県工事合計	172	5,935,000	4	120,000	65	6,501,300	1	10,000	242	12,566,300	
市町村工事合計	20	495,000	0	0	272	6,786,400	2	430,000	294	7,711,400	
合計	192	6,430,000	4	120,000	337	13,287,700	3	440,000	536	20,277,700	

改良復旧事業予定箇所

(金額:千円)

路・河川名	市町村名	箇所名	復旧内容	災害費	改良費
(一)青木川	大鹿村	唐沢	護岸工、床止工、水制工	200,000	180,000
(主)天竜公園阿智線	秦阜村	唐笠	法面復旧工、拡幅改良工	300,000	180,000

令和2年7月豪雨等による農地・農業用施設の被害状況について（第1報）

令和2年7月14日17時現在

1 農地・農業用施設の被害状況

28市町村において、水田畦畔の崩落等による農地の被害222箇所、水路・道路法面の崩落、頭首工の損壊等による農業用施設の被害128箇所、計350箇所、5億8千万円余の被害を確認。引き続き、市町村と連携して被害状況調査を実施。

2 管内別被害状況

(単位：箇所、千円)

地域 振興局	被災 市町村 数	市町村名	農地		農業用施設		合計		うち 6月30日～ 7月1日豪雨	
			箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
佐久	1	立科町	9	3,000	10	5,000	19	8,000	—	—
上田	1	東御市	2	4,000	—	—	2	4,000	—	—
上伊那	1	中川村	8	8,000	—	—	8	8,000	8	8,000
南信州	12	飯田市 松川町 阿南町 阿智村 平谷村 根羽村 下條村 売木村 泰阜村 喬木村 豊丘村 大鹿村	88	187,000	34	96,000	122	283,000	98	204,000 阿智村 平谷村 以外の 10市町村
木曾	3	上松町 南木曾町 木曾町	13	14,000	9	15,000	22	29,000	—	—
松本	3	安曇野市 生坂村 筑北村	13	14,000	11	84,000	24	98,000	—	—
北アルプス	2	大町市 池田町	3	5,000	1	8,000	4	13,000	—	—
長野	4	長野市 千曲市 飯綱町 小川村	78	81,000	60	57,000	138	138,000	—	—
北信	1	栄村	8	5,000	3	2,000	11	7,000	—	—
計	28		222	321,000	128	267,000	350	588,000	106	212,000

令和2年7月豪雨による林務関係被害状況

令和2年7月21日12時現在
長野県林務部

1 概要

令和2年6月30日からの大雨により、上伊那、南信州、木曽地域を中心に多数の山地災害が発生している。

2 被害状況

治山被害110箇所、林道被害84路線336箇所が発生。

市町村別の被害内訳は下記のとおり。

○治山被害

地域振興局	市町村	箇所数	公共災害事業 対応予定箇所数	被害状況
佐久	小諸市	1		山腹崩壊
諏訪	諏訪市	1		山腹崩壊
	岡谷市	1		山腹崩壊
	茅野市	1		山腹崩壊
上伊那	伊那市	7	4	山腹崩壊・土石流
	駒ヶ根市	1		土石流
	辰野町	3		
	飯島町	2		山腹崩壊
	南箕輪村	1		山腹崩壊
	中川村	10	2	山腹崩壊・土石流
南信州	飯田市	8	3	山腹崩壊・土石流
	高森町	1		山腹崩壊
	阿南町	2	1	土石流
	阿智村	3		
	売木村	1		土石流
	天龍村	2		山腹崩壊
	泰阜村	1		山腹崩壊
	喬木村	7	1	山腹崩壊・土石流
	豊丘村	5	1	山腹崩壊
	大鹿村	6		山腹崩壊
木曽	木曽町	11	4	山腹崩壊・土石流
	上松町	2		山腹崩壊
	木祖村	1	1	土石流
松本	松本市	4	1	土石流
	塩尻市	1		
	生坂村	6	3	土石流
	筑北村	2		
北アルプス	大町市	2		山腹崩壊
	池田町	1		
長野	長野市	11	5	山腹崩壊
	飯綱町	1		山腹崩壊
	小川村	3	2	山腹崩壊
北信	栄村	1		
計33(11市8町14村)		110	28	

○林道被害

地域振興局	市町村	路線数	箇所数	林道災害査定 予定箇所数	被害状況
上伊那	伊那市	4	14	1	路肩決壊
	駒ヶ根市	2	6		法面崩壊
	飯島町	3	9	1	
	中川村	4	18	3	路肩決壊・法面崩壊
南信州	飯田市	4	6		路肩決壊
	松川町	3	11	1	土砂流出
	高森町	1	1	1	
	阿南町	2	7	1	土砂流出
	阿智村	4	9	1	土砂流出
	根羽村	3	8	2	法面崩壊
	下條村	1	6	1	路肩決壊
	売木村	1	4	1	路肩決壊
	天龍村	3	11	5	路肩決壊・法面崩壊
	泰阜村	1	1		路肩決壊
	喬木村	2	13		土砂流出
	豊丘村	3	25	6	路肩決壊
	大鹿村	4	21	7	路肩決壊・法面崩壊
	木曾	木曾町	4	19	4
上松町		2	6	1	路肩決壊
南木曾町		1	3	1	土砂流出
木祖村		2	6	1	路肩決壊
大桑村		1	2		土砂流出
松本	松本市	7	34	2	路肩決壊
	生坂村	3	15		法面崩落
	朝日村	6	39	1	
長野	長野市	8	27		路肩決壊
	千曲市	1	9	1	
	小川村	3	3		
北信	飯山市	1	1		路肩決壊
	木島平村	1	2		路肩決壊

2 建政技第 124 号
令和 2 年(2020 年) 7 月 27 日

建設部現地機関の長 様

技術管理室長

「災害時における応急対策業務に関する細目協定」に基づく体制確保について

「災害時における応急対策業務に関する細目協定」については、平成 9 年 8 月 22 日付け「災害時における応急対策業務に関する基本協定」第 5 条に基づき、平成 9 年度当時の各地方事務所長と社団法人長野県建設業協会各支部長が協議し定めているところです。

応急対策業務の実施に当たっては、建設事務所等の長が協会各支部へ協力要請を行うことが想定されますが、協力要請の連絡体制など細目協定に基づく体制が十分とられていないケースが見受けられます。

つきましては、災害時における応急対策業務における迅速な対応が図られるよう、協会各支部とも調整のうえ、年度毎における連絡体制を整えるとともに、担当区域及び建設資機材等の把握を行うなど細目協定に基づく体制確保に努めていただくようよろしくお願いいたします。

建設政策課技術管理室
(室長) 青木謙通
(企画班) 関 貴幸 (基準指導班) 今吉 聡
電話 026-232-0111 (内線 3327,3344)
026-232-7294 (直通：企画班)
026-235-7323 (直通：基準指導班)
FAX 026-235-7482
gijukan@pref.nagano.lg.jp